

1. 件名：「志賀原子力発電所2号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（49）」

2. 日時：令和3年8月2日（月）16時00分～18時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、磯田係員、松末技術参与

北陸電力株式会社：小田執行役員 他9名 ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について 敷地近傍の断層の評価（コメント回答）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について 補足資料
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について データ集1（空中写真・ボーリング柱状図・ボーリングコア写真・BHTV）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について データ集2（音波探査記録）
- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 適合性審査コメントリスト【敷地周辺の地質・地質構造】

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	原子力規制庁谷です。
0:00:05	それでは本日のヒアリングを始めたいと思います。志賀原子力発電所 2 号炉敷地周辺の地質地質構造についてということで敷地近傍の断層の評価のコメント回答ということで、
0:00:20	資料をいただいておりますので、まず資料の説明からよろしくお願いいたします。
0:00:27	北陸電力フジタです今日よろしくお願いいたします 5 月 14 日の介護を踏まえましてのコメント回答させていただきますのでよろしくお願いいたします。説明はヨシダとキムラのほうから行います。よろしくお願いいたします。
0:00:41	はい北陸電力のヨシダです。本日はよろしくお願いいたします。
0:00:45	まず資料確認させていただきます。タイトルの下にですね、コメント回答と確保と書いたものが本資料でございます。その他補足資料、そしてデータ集 1 として様ですね、データ集にこの 4 点がですね審査資料として御準備してございます。
0:01:03	本日の参考として、過去からのですね、コメント回答を載せた 1 枚ものをおつけしてございます。
0:01:12	それでは本資料に基づきまして、説明させていただきます。まず私の方から本日の内容の概要について説明いたします。引き続きですね、キムラから詳細を御説明するというので、全体で 40 分程度を予定してございます。
0:01:30	それでは 3 ページの方。
0:01:32	ご覧ください。
0:01:38	当初はですね、敷地周辺の断層の説明をここで書いた一番、①の敷地近傍と②番のそれ以遠分けて行うこととしております。
0:01:48	そのうち前回の第 973 回の会合で、
0:01:52	①番の敷地近傍の断層につきまして説明いたしました。
0:01:57	本日は、前回会合でのコメントを踏まえまして、データを追加した上で、敷地近傍の断層評価について、
0:02:06	改めて説明いたします。
0:02:09	4 ページの 5 ページおめくりください。
0:02:14	4 ページが敷地周辺で後期更新世以降の活動が否定できない断層を多めマッピングしたものですので 5 ページのほうは、敷地近傍エリア A エリアでの断層分布と評価の結果、
0:02:29	評価結果の一覧を示しております。
0:02:33	ですねそれぞれのページで紫色で書いてございます。①の福浦断層として 2 番の 5 番島沖断層、

0:02:43	三番の兜岩沖断層の三本につきましては、前回での会合でのコメントを踏まえまして、
0:02:51	その後データを追加し、検討加えた上で、断層の長さを見直しております。
0:02:58	工程につきまして6ページのほうで御説明いたします。
0:03:02	ページをお願いします。
0:03:06	まず左の位置図ですね、発電所の東方に福浦断層をマッピングしております。
0:03:12	この前回会合では青で示した約2.7km区間。
0:03:17	これはつまり地形的にリニアメントが判読される区間。
0:03:22	これをですね我々断層長として評価しておりました。
0:03:26	しかしながら、今回は断層の端部を
0:03:29	より確実に示せる1と具体的に申しますと、地形的にリニアメントが判読されなくなってですね、さらにその延長で地質的にも断層が連続しないということを確認した位置、ここですね、断層の端部と。
0:03:46	評価することになりました。
0:03:49	結果としまして、それから断層長さは紫色で示す通り、約3.2kmとを見直しております。
0:03:57	次に海の会議のほうの5番島沖断層と兜岩沖断層についてですが、前回の会合ですね。英語版島沖断層の片方の北東たん
0:04:11	そしてですね、兜岩来断層の南端
0:04:15	ここをですね、まとめとしている記録音波探査記録に微細な凹凸形状があるという御指摘をいただきました。
0:04:25	我々といたしましても、音波探査記録を再度詳細に確認しまして、断層がこれ以上延びていないということを確認に出来るA測線まで断層長延ばすことといたしました結果としていたしまして、英語版島沖断層は約4.2から約4.9km、
0:04:43	兜岩沖断層は約3kmから約4km、
0:04:48	断層長を見直してございます。
0:04:52	続きまして7ページのほうをご覧ください。
0:04:54	これはですね、前回の会合以降、我々として陸域やっていますので、その内容をお値段表で示しております。
0:05:05	基本的にはですね、コメントをいただいたすべての箇所でデータを追加してございます。
0:05:12	一番上の福浦断層につきましては、その両端部に加えて近接するタニ地形英語で御指摘いただきました。ここでもですね、データを追加してございます。マルC0Dと書いた位置となります。

0:05:27	続いて丸井の永田付近、これにつきましては地質分布の確認。
0:05:31	○Fの構台南からIの高須森山東邦これにつきましては、断層の有無を確認するためのデータを追加してございます。
0:05:43	一番下のほうが長い断層につきましては、今泉のほうを示した。
0:05:49	断層位置ですね、ここを含め 6 東端付近でのデータを追加してございます。
0:05:56	続きまして 8 ページ。
0:05:59	2 ページをご覧くださいませ。
0:06:02	8 ページはですね、前回の会合でいただいたコメントの一覧を示してございます。
0:06:07	9 ページのほうにはですね、回答の概要とこの資料の記載ページを
0:06:13	載せてございますので、これは今からですね、そういう際に説明させていただきます。
0:06:18	以上が本日御説明する概要でございます。引き続き、キムラのほうから内容の詳細について説明させていただきます。
0:06:30	北陸電力キムラです。それでは 10 ページから資料の内容について御説明いたします。
0:06:36	10 ページ 11 ページが目次となっておりますが、この資料の構成につきましては、前回の会合から変更はありません。
0:06:46	資料の中身につきましては 12 ページから始まりますが、資料の中身について、資料の追加等を行ったページを中心に御説明いたします。
0:06:58	まず 12 ページから一章の敷地の敷地周辺の地質・地質構造になりますが、これについては前回の審査会合資料と同じ内容の再掲となっております。
0:07:13	それから 43 ページからは 2 章の敷地周辺の断層の評価になりまして、44 ページ以降の 2.1 節、敷地周辺の断層の評価概要につきましては、前回の会合から資料の変更はありません。
0:07:30	59 ページから福浦断層の評価になりまして、ここからご説明いたします。
0:07:37	まず 60 ページをご覧くださいませ。
0:07:41	ページが断層の評価結果をまとめたページとなっております。
0:07:46	コメントの 10 番。
0:07:49	福浦断層の評価についてのコメントを踏まえまして、前回の審査会合から変更した箇所を紫色の文字で示しております。
0:08:00	また右の図には、後程説明いたします断層トレースを黒い色の破線で図示しております。

0:08:09	まず左の活動性評価の箱の一番下の紫色になりますが、大坪がダム差が右の図で言いますと、④の地点でボーリング調査を実施した結果、断層を確認したというデータを今回追加しております。
0:08:28	次に右の長さの評価という箱で木炭ってところの上から二つ目の丸ですけども、右の図の⑤という地点、膨らみ等東部Sという地点で表土はぎ調査を実施した結果、
0:08:45	確認した断層を、前回会合までは断層Aというふうに呼んでおりましたが、今回これを福浦断層に対応する断層としてA評価をしました。
0:08:56	その北方延長に位置する、⑥の地点で膨らみ等東部括弧Nという地点において、今回表土はぎの範囲を広げて調査を実施した結果、緑層の岩盤が連続して分布して、
0:09:11	福浦断層に対応する断層は認められないということを確認しました。
0:09:17	従って、A断層は確実に認められないということを確認した⑥の福浦だ福浦港東部括弧Nという地点を福浦断層の北端と評価しました。
0:09:30	それから南端につきましては、右の図の⑦、カスミ東部地点において、表土はぎの範囲を広げて、断層が認められないというデータをより充実させております。
0:09:44	そして断層が認められないことを確認した⑦の地点、
0:09:48	カスミ東部地点を福浦断層の南端と評価しました。
0:09:52	従いまして福浦断層の評価長さはこれまでリニアメント変動地形が判読される右の図の青矢印の
0:10:02	すいません、右の図で黒の細い矢印で示したリニアメント変動地形という、約2.7km区間としておりましたが、
0:10:12	今回、⑥地点から07地点までの約3.2km区間に評価を見直しました。
0:10:21	また
0:10:23	右の図で水色の破線で示したタニ地形につきまして、
0:10:27	今回地表踏査表土はぎ調査、ボーリング調査等を実施した結果を示しておりました福浦断層から分岐する断層は認め、認められないということを追加で確認しております。
0:10:42	以降のページが詳細データをつけておりますが、以降のページにおいて、前回から変更した点についてご説明いたします。
0:10:51	まず63ページをご覧ください。
0:10:57	63ページ福浦断層周辺の段丘面調査というページで福浦断層周辺には中位段丘面、高位段丘面が分布しておりますが、これらの段丘面において、取得している地質データにつきまして、

0:11:12	一覧表でまとめております。
0:11:16	これらの詳細データは、今回、補足資料の 2.2-1 の(8)というところに添付しております。
0:11:25	続きまして 66 ページをご覧ください。
0:11:29	66 ページ福浦断層周辺の地質図になりますが、市地形調査、地質調査の結果、各調査地点において、リニアメント変動つけんリニアメント変動地形にほぼ対応する位置に断層を確認したことから、
0:11:47	この下の図のようにね地形地質データに基づく断層トレースを黒の破線で示しております、調査による断層確認位置を赤の矢印で図示しました。
0:12:01	なお、リニアメント変動地形が、
0:12:04	判読されないA区間につきましては、推定区間としまして点線で示しております。
0:12:12	次の 67 ページの地質断面図にも、断層の位置を黒の破線で示しております。
0:12:20	断層トレースにつきましては、右側が断層も
0:12:24	同様に図示しております。
0:12:29	続きまして 80 ページをご覧ください。
0:12:35	80 ページ。
0:12:37	大坪が駄目左岸のボーリング調査結果になります。
0:12:42	大坪がある砂岩において、ボーリング調査のデータを今回追加しております。
0:12:49	このボーリング調査でF-1' 孔に、
0:12:53	を実施した結果、リニアメント変動地形にほぼ対応する位置に福浦断層と総合傾斜が調和的な破碎部を確認したということから、これを福浦断層と評価しております。
0:13:09	次に 86 ページをご覧ください。
0:13:15	86 ページは福浦断層の北端付近の地形断面図になりますが、この地形について、今回、上から
0:13:25	二つ目の上から三つ目のN2N2' 断面と上から二つ目のN3N3' 断面のこの二つの断面を新たに追加しまして、リニアメント変動地形の北方延長には逆向きの低害が認められないと。
0:13:42	いうデータを追加しております。
0:13:46	次は 87 ページをご覧ください。
0:13:51	福浦断層の北端付近の地質調査結果をまとめたページとなっております。
0:13:57	まず福浦港東部の括弧S地点のルートマップの範囲においてA断層Aというものが認められております。

0:14:07	前回会合では、この断層につきまして、右上の米印に記載しております通り尾っぽ南方の延長方向に認められないということから、連続性のない局所的な断層であり、
0:14:23	福浦断層に対応しないというふうに評価しておりました。
0:14:27	しかしながらこの断層をAは、走向傾斜が福浦断層と調和的でありまして、南保の変動福浦中島線沿い箇所については、露頭が欠如する区間があるということから、今回、
0:14:43	これを福浦断層の一部というふうに評価しました。
0:14:47	その北方延長に位置する膨らみ等東部括弧N地点におきまして、既存のルートマップDの範囲に加えて、今回ルートマップEの範囲を追加でちょうどはぎ調査を実施した結果、
0:15:01	断層の北方延長位置も含めて福浦断層に対応する断層は認められないことを確認しました。
0:15:09	したがいまして、断層が確実に認められないことを確認した福浦港東部括弧N地点を福浦断層の北端と評価しました。
0:15:21	なお県道の北東方に位置する、タニ及び安全。
0:15:27	タニ及び鞍部にあたる地点においても、追加で表土はぎを実施しておりまして福浦断層から分岐する断層は認められないということを確認しております。
0:15:41	以下のページはAルートマップのデータをつけておりまして、
0:15:44	88 ページから 91 ページのルートマップAからDにつきましては、前回の会合の資料の再掲となっております、
0:15:54	92 ページが今回追加したルートマップEのデータになります。
0:16:01	表土はぎ前線の写真データは、補足資料の 2.2 の方へ 1 の(2)に添付しております。
0:16:11	93 ページは、県道福浦、中島線、
0:16:16	増員の仮称地表踏査のルートマップを示しておりますが、水色の破線で囲った範囲が既往調査範囲になりまして、今回福浦断層から分岐する断層の有無について確認するために、来利用調査範囲の東方において、
0:16:33	地表踏査のデータを追加しております。
0:16:38	94 ページは、県道の北東方に移るタニ及び鞍部にあたる地点において、実施した表土はぎの結果になりまして、
0:16:47	このタニ及び鞍部の位置に断層が認められないということを確認しております。

0:16:53	この露頭において割れ目層理面等を確認しておりますが、それらの拡大写真を 95 ページのほうにつけておりました、これらはいずれもA断層ではないということを確認しております。
0:17:08	続きまして 99 ページをご覧ください。
0:17:14	99 ページ福浦断層の南端付近の地質調査結果をまとめたページとなっております。
0:17:22	まず、大坪がダム右岸では 2 本の断層は推定されまして、98 ページの尽きる調査の結果、上から二つ目のD'断面で、東側の断層の延長位置に逆向きの低害が認められるに對して、
0:17:41	西側の断層の延長位置に分布する段丘面には東側への弊社が認められないこと。
0:17:49	それから、後程説明しますと、何と何製法に分布する、タニ地形の位置に断層が認められないという調査結果から、この積がダム砂岩では断層は 1 本に収斂しているものと判断しました。
0:18:07	積が駄目砂岩で、ボーリングにより確認した断層の南方延長に位置するエアカスミ東部地点において、前回会合ではルートマップFの範囲のデータを示しておりましたが、今回より幅色に調査データをつけております。
0:18:25	ルートマップGの範囲のデータを追加して示しておまして、合わせて断層がないということを確認しております。
0:18:35	従って、A断層が認められないということを確認したカスミ東部地点をわかって福浦断層の南端と評価しました。
0:18:45	なお、大坪がダムの左岸におきまして、活断層研究会 1 救急位置が示した活断層の推定位置に当たる。
0:18:55	ルートマップ 1 の表土はぎの結果福浦断層から分岐する断層は認められないということ
0:19:04	併せて確認しております。
0:19:07	100 ページ以降につきましては、ルートマップ等のデータをつけておまして、
0:19:12	100 ページのルートマップFは、前回資料等の再掲になりまして、101 ページに今回追加したルートマップGをつけております。
0:19:24	102 ページは群列ボーリングの結果、
0:19:27	で、103 ページは、今回追加したAOつばが大分砂岩において、かつ活断層研究会 1 救急位置が示した活断層の延長位置にあたるルートマップ時のデータを示しておまして、
0:19:44	断層は認められないということを示しております。
0:19:50	この先ほど萩全域の写真につきましては、補足資料の 2.2-1 の(6)のほうにつけております。

0:19:59	それから 100405 ページは旧汀線高度等のデータになりまして、これは前回資料の再掲となっております。
0:20:09	続きまして 106 ページからは審査会合でのコメントNo.10 を踏まえまして、裏断層周辺に認められるタニつけについて、今回追加した資料になります。
0:20:22	106 ページの下の図のように福浦断層に近接して雨水三つ水色の破線で示すいくつかのタニ地形が分布しておりまして、これらタニ地形の位置にリニアメント変動地形が判読されませんが、
0:20:37	福浦断層から分岐する断層の存否を確認するために調査を実施しました。
0:20:44	調査は浦断層の北東方に分布する、タニつけ I と II A 南西ほうに分布するタニちゅ計算と 4 を対象に実施しました。
0:20:55	107 ページをご覧ください。
0:20:59	107 ページは、北西法のタニ付け(1)(2)、
0:21:04	に関する調査結果をまとめたページになります。
0:21:09	地形調査の結果、これらのタニ付の位置に対応するリニアメント変動地形は判読されず、タニ地形を挟んで段丘面に高度差がないこと。
0:21:19	また右の図で青い度で示した位置で実施した地質調査の結果、断層が認められないということから、これらのタニ地形の位置に断層は認められないと評価しました。
0:21:32	まず 108 ページが地形調査結果になります。
0:21:37	現在このタニ付け(1)沿いに県道が建設されている。
0:21:43	タニ地形沿いに県道が建設されているということから、この点どう建設前の空中写真を用いまして改変前の地形を確認しました。
0:21:54	右下の図の右側のところが点け改変前の地形図になりますが、
0:22:01	タニ地形(1)は中央部で連続せず高位段丘面が横断して分布しているということが確認できます。
0:22:11	またタニ地形 I 及び II は A 破線で示しますように直線性に乏しく弯曲して分布しております。
0:22:20	次の 106 ページに地形断面増へ示しておりますが、タニ地形 I 及び II を挟んで、段丘面に高度差はないということを確認しております。
0:22:34	次 210 ページをご覧ください。
0:22:38	タニつけ位置に関する実質調査結果になりますが、タニ地形位置のサーバ分で広く地表踏査を実施した結果穴水累層の安山岩質火砕岩が分布しておりまして、それらは非破碎で断層は認められません。
0:22:56	またこの赤色で示した位置でボーリング調査を実施した結果、断層は認められません。

0:23:04	111 ページに地表踏査結果として得露頭の写真を示しておりまして、作 12 ページにボーリング調査の位置図と断面図、
0:23:14	113 ページにコア写真を示しております。
0:23:19	それから 114 ページをご覧ください。
0:23:23	これはタニつけに関する地質調査結果になりますが、タニ地形にのサーバ分で記録地表踏査を実施した結果、健康な穴水累層の岩盤が分布しております。
0:23:36	タニ地形に横断して表土はぎ調査を実施した結果、断層は認められません。
0:23:42	これらの露頭とちよつと調査写真を 115 ページにつけております。
0:23:49	また、116 ページでタニ地形にの延長位置付近の海岸部露岩域での地表踏査の結果を示しておりますが、ここに断層は認められません。
0:24:01	117 ページに過失なしの空中写真をつけておりまして、118 ページにはルートマップ中で、赤線で示された節理の部分の拡大写真をつけております。
0:24:16	続きまして 119 ページをご覧ください。
0:24:20	何製法のタニ付け(3)と(4)に関する調査結果をまとめたページになります。
0:24:28	地形調査の結果、これらのタニ率計の位置にリニアメント変動地形は判読されず、タニ地を挟んで段丘面に高度差がないこと。
0:24:37	また右の図で青色で示した位置で実施した地質調査の結果、断層は認められないことから、これらのタニ付の位置に断層は認められないと評価をしました。
0:24:51	120 ページは、地形調査結果になります。
0:24:55	タニ地形 3 及び 4 は、破線で示すように直線性に乏しく、弯曲して分布しております。
0:25:04	タニつ計算は、
0:25:06	* 頭痛で矢印で* の規模で示した位置から直進方向に
0:25:14	黄色の破線で示す短いタニ付け(3)' というものが分布しております。
0:25:25	この 100
0:25:27	21 ページに地形断面図を示しておりますが、タニ地形 3 及び 4 を挟んで、段丘面に高度差はないということを確認しております。
0:25:39	122 ページをご覧ください。
0:25:42	タニ地計算に関する地質調査結果になりますが、赤色で示した 2 本のボーリングの結果、断層は認められません。また、先ほど申しましたタニ地形(3)' の直上で
0:25:58	表土はぎ調査を実施した結果、写真を 128 ページのほうにつけておりますが、断層は認められません。
0:26:08	昨 23 ページにボーリング A2 本のボーリングの位置図と断面図、

0:26:14	124、125 ページにボーリングコアの前兆の写真を示しております。
0:26:22	123 ページの左下の箱書きに評価を記載しておりますが、
0:26:27	タニと直交する方向のAOTの 3 項におきまして、破碎部が①から④の 4 ケ所、
0:26:38	タニと平行な方向の
0:26:41	OT-2 孔において破碎部⑤、1 ケ所が確認されました。
0:26:47	これらの破碎部は 126 と 127 ページに拡大写真をつけておりますが、
0:26:54	主として固結破碎部から成っております、福浦断層の性状として見られる熱いの厚い粘土や角礫状破碎部等は認められません。
0:27:06	それから破碎部、①と②は隣接校であるOT-2 孔に連続しておらず、また破碎部、②から⑤につきましては、走向がタニ地形と異なることを確認しております。
0:27:22	よって、ボーリング調査の結果、このタニ地形、山の位置に福浦断層から分岐する断層は認められないと評価しました。
0:27:33	続きまして 129 ページをご覧ください。
0:27:38	タニ地形 4 に関する地質調査結果になりますが、
0:27:42	130、131 ページに示すように、タニの延長位置を横断するちょうどはぎ調査の結果、断層は認められません。
0:27:52	以上のことから、福浦断層周辺に認められるタニ地形の位置に断層はいずれも認められないと評価をしております。
0:28:02	以上が福浦断層の評価になります。
0:28:05	続きまして、133 ページから、永田付近の断層の評価になります。
0:28:11	134 ページの断層の評価結果につきましては、前回の会合から変更ありませんが、
0:28:20	コメントのNo.11 の永田付近の断層周辺の地質図の根拠についてのコメントへの回答としまして、139 ページから
0:28:31	141 ページに広範囲の地表踏査結果のルートマップを示しております、リニアメント変動地形は穴水累層と互層等の境界にあたることを示すデータを追加しております。
0:28:47	続きまして 145 ページからは構台南の断層の評価になります。
0:28:54	は構台南の断層などの文系、文献に示された断層につきましては、コメントの No.12 番で対応する断層は認められないと評価した根拠をより充実させるようにといった趣旨のコメントを踏まえまして、
0:29:11	地形地質データの充実を行っております。

0:29:15	146 ページが構台南の断層の評価結果についてまとめたページになりまして、左の箱で紫、紫色の文字で示したところが、今回追加箇所になります。
0:29:30	構台南の断層を横断する表土はぎ調査のデータを追加しておりますは構台南の断層に対応する断層がないことを示すデータを充実させております。
0:29:42	また、付けれたニの充実につきましては、149 ページをご覧ください。
0:29:51	149 ページが構台南の断層の周辺の地形の特徴というページになりますが、
0:29:57	活断層研究会 1991 によれば、構台南の断層の南側の改正段丘H1 面が 10 から 20m隆起というふうに記載されておりますが、文献がこの
0:30:12	H1 面としている面の高度を比較したのは、150 ページの'断面とD'断面になります。
0:30:21	この航空レーザー計測等によれば、文献が示すH1 面が構台南の断層での南側で高くなる傾向は認められません。
0:30:33	なお地形断面の班や数をふやして、段丘面の高度差の有無がより確認しやすいように、縦横スケールを一体にから言ったように変更して示しております。
0:30:47	これはその他の高津ぼりAの山付近のリニアメントについても同様に
0:30:54	示しております。
0:30:56	それから地質データについてもそれぞれデータを充実させておりまして、追加したデータについて説明します。
0:31:04	153 ページから
0:31:07	157 ページは構台南の断層の推定位置を横断する表土はぎ調査の写真スケッチのデータになります。
0:31:17	この表土はぎ調査の結果、は構台南の断層と推定される位置の
0:31:23	一応横断するサーバー部で穴水累層の安山岩が連続して分布し、断層は認められないということを確認しております。
0:31:35	続きまして、160 ページから高津森山北西法 1 リニアメントの評価結果になりますが、
0:31:44	160 ページの紫色の文字が今回追加した箇所になりまして、
0:31:49	165 ページに、
0:31:52	広範囲の地表踏査データを今回追加しております。
0:31:58	それから 169 ページは、かつぼり山北西方にリニアメントの評価結果によりまして、
0:32:06	175 ページに、地表踏査データ
0:32:10	咲く 76 から 107、176 から 181 ページにリニアメントの推定位置を横断する表土はぎ調査データを追加しております。

0:32:25	それから着 84 ページが赤字森山東方リニアメントの評価結果にありまして、190 から 192 ページに広範囲の地表踏査データをつけておりまして、193 ページに、ちょうどはぎ調査のデータ。
0:32:43	194 から 196 ページにリニアメントの推定位置を挟んだ、ボーリング調査のデータを追加しておりまして、いずれも断層が認められないということを示すデータを充実させております。
0:32:59	さらに高く盛り上がり東方リニアメントにつきましては、コメントのNo.13 を踏まえまして、197 ページ以降に反射法地震探査のデータを用いて断層が
0:33:13	認められないということで、いう評価をしております。
0:33:19	続きまして、
0:33:21	222 ページからは敷地近傍海域の断層の評価になります。
0:33:27	5 番島沖断層及び兜岩沖断層の評価についてのコメントのNo.14 を踏まえまして、今回端部の評価の見直しを行いました。
0:33:39	204 ページをご覧ください。
0:33:41	まず 5 番島沖断層の評価結果になりますが、冒頭でも御説明した通り、報告東端の評価を今回見直しておりまして、今回評価長さを約 4.9 キロメートルとしております。
0:33:54	これにつきまして、詳細。
0:33:57	になりますが、210 ページをご覧ください。
0:34:03	210 ページは前回報告東端としていたNo.7.75S側線、No.7.5U測線の記録になりますが、矢印で示した母岩島沖断層の延長部付近の
0:34:18	Bor層及びB II 層の基底面に東側が低くなる計上が認められます。
0:34:27	本測線は、5 番千葉沖断層の走向と鋭角に斜交しており、この形状が断層による影響か判断できないことから、さらに北東方の測線で評価を行うこととしました。
0:34:42	次の 211 ページがその北東方延長にあたるNo.108-2s測線の記録になりますが、日湾N層及びD II 層の基底面に同様の形状は認められず、いずれの地層にも断層が推定できるような変位変形は認められません。
0:35:01	214 ページが、以上のまとめになりますが、断層構造が認められないということを実に確認したNo.108-2S側線を今回北東東端と評価して断層長さを約
0:35:17	4.9 キロメートルと評価しました。
0:35:21	続きまして、217 ページをご覧ください。
0:35:25	兜岩沖断層の評価結果になります。
0:35:28	今回南端の評価を見直しておりまして、評価長さを 4.0kmとしております。
0:35:35	これにつきまして、詳細になりますが、226 ページをご覧ください。

0:35:43	226 ページは、今回、前回南端としておりました。No.9.25s測線の記録になりますが、夜中示した兜岩沖断層の延長部付近のBor層及びBⅡ層の基底面に、
0:36:00	状の形状が認められて浸食により形成されたと考えることもできますが、断層の影響、断層による影響の可能性も否定できないことから、さらに南方の側線測線で評価を行うこととしました。
0:36:17	次の 227 ページがその南方延長にあたるNo.9.5s測線の記録になりますが、Bor層及びBⅡ層の基底面に状の形状は認められず、いずれの地層にも、
0:36:32	断層が推定できるような変位変形は認められません。
0:36:38	228 ページが、以上のまとめになりますが、断層構造は認められないことを確認して確実に確認したナンバー9.5s測線を南端と評価して断層の長さを約 4.0 kmと評価しました。
0:36:55	続きまして、223／233 ページをご覧ください。
0:37:02	233 ページの右側が断層の評価結果になります。
0:37:08	トリガ長い断層の評価についてのコメントは 100 ナンバー100
0:37:14	すみません、No.15 番。
0:37:16	を踏まえまして、紫色の文字が前回から追加変更した箇所になります。
0:37:23	右の図で緑色の丸で示した今田地点におきまして、今回地質調査データを追加しております。
0:37:32	今回追加した調査データを 253 ページに示しております。
0:37:39	253 ページをご覧ください。
0:37:46	北東方延長の地質調査というページになりますが、リニアメント変動地形の北東方には 2 面リニアメント変動地形の延長方向にあたるロックAと書いてある A地点及びその周辺の今田地点におきまして、
0:38:02	地表踏査のデータを拡充しまして、断層が認められないというデータを追加しております。
0:38:09	また今泉ほか 2018 が水系の屈曲を示した沢についてもデータを追加しまして、断層は認められないということを確認しております。
0:38:19	254 ページはリニアメント変動地形の延長方向にあたる 600Aの地点における調査結果になりまして、ルートマップと露頭写真をつけております。
0:38:32	255 ページは今泉ほか 2018 人における水系の屈曲部における調査結果になりまして、256 ページに今回、さらにデータを追加しまして、断層が認められないということを示しております。
0:38:50	また 257 ページは、今回新たに追加したボーリング調査の位置図と断面図をつけておきまして、258 ページにコア写真をつけております。

0:39:02	ボーリング調査の結果、今泉ほか 2018 の推定活断層の地下延長部にa断層は認められないということを確認しております。
0:39:13	以上より、リニアメント変動地形の北東方では今泉ほか 2018 の推定活断層が図示された沢も含めて、幅B炉に調査を行いまして、いまだ地点より北東方には、右側が断層断層は延長しないということを買って確認しました。
0:39:33	265 ページが、以上のまとめになります。
0:39:39	265 ページへと岩永断層の北東タニにつきましては、地形地質調査により断層はないことを確認した今田地点より北東方の層圧地点におきまして、
0:39:53	重力異常急変部が途絶える時点を置く東端というふうの評価しておりますことから、A断層の長さの評価につきましては、前回の会合から変更はありません。
0:40:06	続きまして 267 ページをご覧ください。
0:40:12	267 ページの右側が断層から兜岩沖断層間のつつ、地質構造の評価につきまして、コメント 16 番の海域の基盤頑丈面コンターを示すようにというコメントを踏まえまして、
0:40:28	紫色で記載したところを追加しております。
0:40:33	海上音波探査の結果音響基盤の構造の観点から右側が断層から兜岩沖断層に連続する構造が推定されないということを追記しました。
0:40:46	これにつきましては、詳細は 272 ページをご覧ください。
0:40:53	272 ページ。
0:40:56	ですけども。
0:40:58	断層構造の連続性を検討するために、D II 層状面の等深線増作成しました。
0:41:07	岩永断層の海域延長部ではD II 層上限は南西方向に振動しておりまして、断層挟んで、
0:41:18	dt II 層上限深度に差は認められません。
0:41:24	兜岩沖断層周辺の海域ではDTSD II 遡上面は下位海岸線から断層位置までへ緩やかに深度を増しておりまして、断層位置で襲撃に落ち込んでおります。
0:41:39	この傾向は兜岩沖断層の北東億北方延長では認められず、より、海岸線付近で深度を増しているという状況が認められます。
0:41:51	以上より、この両断層間に連続する構造は推定されないというふうの評価しました。
0:42:01	続きまして 286 ページ以降は端末資料 1 としまして、海域の地質貯層序についてまとめておりますが、目次でグレーにした部分は、前回の会合で御説明した内容になります。

0:42:18	ここでコメントNo.17 の陸上ボーリングと海上ボーリングの対比を行った測線との関係につきましては、293 ページをご覧ください。
0:42:32	293 ページで、AB湾N層の基底が陸上ボーリングを実施した高浜地区から敷地近傍会議まで連続していることを今回このページで、海上ボーリングをとの対比を行った。
0:42:48	Ni10BM測線を用いて示しております。
0:42:56	すみません 294 ページからは巻末資料 4 としまして、能登半島西岸の段丘面高度分布に関する検討結果を示しております。
0:43:09	295 ページでの担当全体の段丘面高度分布について示しておりますが、コメントNo.18 の
0:43:18	能登半島西岸のデータをより詳細に分析することというコメントを踏まえまして、296 ページで、敷地近傍含む能登半島西岸の段丘面高度分布について、詳細なデータを示しました。
0:43:33	この内壊死積みからがん門の区間につきましては、段丘面が分布していないため、基盤の上面標高を黒い印でプロットしております。
0:43:46	この基盤が上面の高度分布はツツミからがん門の間で北上がりの抵抗示しております、
0:43:55	これらを同時代に形成され、された改正の侵食面と仮定した場合と右側が断層による変位を反映している可能性があると評価しました。
0:44:06	297 から 302 ページにし堤からがん門の間におけるエコ砂丘やこっち扇状地面の下の
0:44:15	基盤が上限標高を確認したデータを示しております。
0:44:21	それから 296 ページの一番下の図にあります、水準点標高の最近 100 年間の累積変位変化量につきましては、段丘面高度との明確な対応は認められないということを確認しております。
0:44:40	よって、少なくとも最近 100 年の地殻変動からは、このエリアごとの段丘面高度の違いが定常的な地殻変動に起因するということは、試算されないと。
0:44:52	いうことを
0:44:54	という評価をしております。
0:44:57	資料の説明は以上です。
0:45:06	規制庁タニです。ありがとうございました。
0:45:10	それでは、資料の
0:45:12	確認の方をしていきたいと思えます。
0:45:17	まず私から何点かちょっと確認させていただきます。
0:45:21	えっとですね。

0:45:27	ちょこちょこあのボーリング調査、
0:45:30	とか、
0:45:33	追加調査が行われてるんですけども、
0:45:36	これ、これちょっと形式的なことなんですけども。
0:45:41	ポート柱状図だとか、そういったデータっていうのは、今まだ取りまとまってない状態なんですとか、確認させてください。
0:45:52	北陸電力のノハラです。
0:45:55	° 柱状図につきましては、現在作成しておりますがちょっと時間的に間に合わなかったということで、今回、資料にはつけておりません。
0:46:04	ちょっと本資料のほうへ優先して作成していたため、ちょっと出だしの策定まで間に合わなかったんですが、でき次第、資料につけたいというふうに考えております。以上です。
0:46:18	規制庁とニュースも品証の管理の点だとかされるんだと思うんですけども、
0:46:26	邪魔でき次第でき次第っていうのがあれですかね、会合とかに間に合うようなタイミングで、
0:46:32	添付されるということでもいいですかね。
0:46:38	北陸電力ノハラです。審査会合までには間に合うように作成したいと思いますのでよろしくお願いします。
0:46:48	はい。タニです。
0:46:50	お願いしますんですけど、それで大丈夫なんですかね柱状図とかがしっかりできていない中で、ここは断層がまた断層に着目した整理をされているのか。
0:47:05	その何ていうんですかね品証の管理の観点から、ちゃんとデータ化されていないものが、はい、入っているという状態なその辺ちょっと考えてですね。
0:47:17	資料を作っていただきたいんですけど今のお考えだけちょっと聞いておきましようか今こう柱状図とかがないんですけども、資料には入ってるっていうことについて、そのデータの扱ってっていうのは問題ないですか。
0:47:35	北陸電力フジタです。今回示したデータにつきましては、委託業者の方の品証チェックを受けました観察データという記録はいただいているんですけども、いつも会っておつけしている。
0:47:50	申請書様式の柱状図についてはちょっとまだ間に合っていないというふうにノハラ説明しまして、
0:47:59	委託者が出てきたチェック済みのものを当社のほうとして破砕部の位置ですとか幅についてはしっかりその内訳というのも確認した上で、今回のボアホールテレビとコア写真にその情報を記載したという形になっております。

0:48:14	で委託者が作りましたそういった今回もらってるデータにつきましては、今作成している鑄造図に合致したもので出てきたことを改めて確認した上で、提出いたします。その内容に差異があるというふうには考えておりませんので、
0:48:30	我々も現物とかも見ておりますし、しっかりしたもので出させていただきたいと思っております。以上です。
0:48:39	規制庁タニです。ちょっとその辺しっかりとですね、資料提出にあたって、
0:48:45	確認いただけますようお願いいたします。すいませんまずは形式的なところでした。
0:48:51	続いてなんですけれども、
0:48:55	えっとですね、今回
0:48:58	結構地質調査追加されているっていうのが真ん中 8 ページ、7 ページとかですか。
0:49:03	当会合以降に今追加したデータということで、
0:49:08	調査内容っていうのを書かれてその内容っていうのはですね資料見ていけば、ここにあるなっていうのはわかるんですけど、これそもそもですけど、各断層に対して何か
0:49:22	追加調査してる内容ってそれぞれ間違っわけじゃないですか。この考え方というか、
0:49:31	どうしてこの調査をやっているのかどういったときにはどういったことをするんだとか、そういった方針めいたものというかですね、
0:49:43	そういうのはどっか見たらわかるような状態ですか。
0:49:50	北陸電力の芳賀です。
0:49:52	今ほどのコメントなんですけど基本的には各断層を
0:50:00	例えばその断層
0:50:02	認められないという評価充実させたいと考えるときには、地表踏査ですとか、表土はぎと言いましたの地表での連続露頭、これを最優先しております。
0:50:16	これを優先し程度目指しておりますが、例えばその地形的な要因ですとか、そういった要因で連続露頭がなぜそうにないところ、そういったところは補完的にボーリング調査っていうのを考えるとこういった考えで調査のほうを計画しております。
0:50:32	今言いましたような前につきましては、この資料にちょっとそういったの方針めいたものは書いてございませんので、次回へとそういった方針も含めて、資料に記載させていただきたいと思っております。以上です。
0:50:48	はい規制庁谷です。そうそうですねどんな考えてやられたかっていうのが入ってたほうが

0:50:54	わかりやすいかなと思い、思います確認する我々としてはですね。
0:51:02	基本的には地質地表踏査だとか表土はぎとかを優先的に充ててそこで判断できるかどうかということでボーリングってということで、基本的な考えを確認できました。
0:51:15	あとはですね、ちょっとそれ調査数量が増えて、
0:51:21	この断層に対してどういう調査がこう何か行われているかみたいなのが、
0:51:27	何かあればですね、各断層ごとにちょっと
0:51:33	調査の位置内容目的みたいなのがわかるような
0:51:39	ものがあれば、ちょっとこう、
0:51:42	確認したいんですけども、今調査しましたと調査のところまでコマ探しにいけばですね確かに内容は見える見れるんですけど、その1個の断層としてどういったことを
0:51:58	調査をしているのかというのがわかるような
0:52:02	ものを何か。
0:52:04	あればいいなと思ってるんですけどどうですかね。
0:52:07	どっかここ見たらいいんですよとかいうのがあれば、
0:52:14	北陸電力のノハラです。
0:52:19	各断層の一番頭のページ、例えば福浦断層ですと60ページになりますが、
0:52:26	こちらに
0:52:28	福浦断層の評価結果ということで、右側に位置図が5A示してございまして、こちらに
0:52:36	例えば反射法ですとか、そういったものが書いてございます。今タニさんおっしゃいましたように、どの場所でどういった内容の調査、1数量、そういったものがわかるように、今回、例えばこういった
0:52:53	60ページのところにそれがわかるように整理したいというふうに思っておりますが、そのような形でよろしいでしょうか。
0:53:02	規制庁タニです追加いただけるんだったらそれをぜひ見させていただいて、
0:53:07	わかりやすくまとめていただけたらと思います。お願いします。
0:53:15	北陸電力フジタですけれども、今タニさんおっしゃったのはその文献調査を行っては除いて、我々が独自にやった調査という趣旨でよろしいでしょうか。タニですはいその通りです。どこでボーリングやって、どの辺ではぎとり当てて、
0:53:32	例えばもうあれですよ、この福浦だったら、ここに書いてある以上のことを結構されてますよねこの分岐がないのか確認したりとかだとかですね、そういった調査がぱっと見て分かるようにしていただけたら。

0:53:47	あと、これはできたらというところですけどその紐づけがあればわかりやすいかなと思いますけどこのページに、この結果があるとか、
0:53:58	フジタです。そうしましたら1枚ものでそういった調査がわかる図面と、概要書いたものと紐づけしたページを変えてつくりたいと思います。以上です。
0:54:09	はい。お願いいたします。
0:54:12	それで、すみません。はい。1点、資料づくりの確認なんですけど、今のデータは新規の今回、前回会合以降からの新規の追加分行くと、それ以前のものわかるようにですね、もう全体がわかるように、
0:54:28	もちろんですかね。それおまかせしますけど、今僕が言ったのは全体がわかるようにとは思っています。結構調査のそれも増えているし、いろんなところでされてるっていうのがぱっと見て分かるような形に
0:54:43	していただいきたいし、その目的だとかですね。
0:54:47	評価の困難の評価に使ってるかっていうのがわかるようにしていただけたらと思います。
0:54:54	続けて、私の方からの確認。
0:54:58	そうさせていただきます。
0:55:01	順番に行きましょうか。福浦断層なんですけれども、
0:55:08	まずね、
0:55:10	この63ページに、
0:55:13	ドンツ段丘面調査っていうのをされてるんですけども、これって、
0:55:20	何か新しい調査とかじゃなくて、
0:55:23	初めて見たような気がするんですけど、今まであった調査を
0:55:29	コンパイルしているっていう形なんですか。
0:55:35	北陸電力のノハラです。
0:55:37	こちらにつきましては段丘面に関する地質情報がこれまであまり示してこなかったということもありまして、今回幅広にということもありますので、これまでの調査結果を改めて大規模に関して、このように取りまとめた。
0:55:55	そういったページになっております。以上です。
0:56:00	規制庁投入す。これがだからあれですか段丘面の調査位置図みたいな形とそこで確認している項目が今までのちょ調査。
0:56:11	行われた調査がここに示されてるってことでいいですかね。
0:56:23	新しい調査ではないってことですよね。
0:56:26	はい、わかりました。
0:56:27	すみませんが遅れノハラです。
0:56:30	一部新しい調査も含まれております。

0:56:37	これまして、一部℃調査。
0:56:41	例えば、
0:56:44	あと、例えば、例えばみんなあの1ヶ所だけなんですよ26番、②6番で今回痛感した調査地点になります。
0:57:07	うん、はい、わかりました。あとはあれですか。だ後はこれまでこの段丘面区分図を書くときに使っていたデータっていうことでいいですね。
0:57:19	功刀ノハラです。その通りです。以上です。
0:57:23	はい、確認できました。
0:57:30	それで、続いて福浦断層なんですけれども、
0:57:39	66ページ。
0:57:42	断層の位置を今回わかるようにしましたということで、
0:57:49	ここ書いてるんですけど、結局のところは大坪川ダムの右岸
0:57:56	大坪川ダムの右岸のこの断層っていうのは、
0:58:00	もう福浦断層として評価しているっていう
0:58:05	ことです。福福浦断層でも何かこう、もう少し説明があるんですが、例えば
0:58:12	なんか分岐断層なのか
0:58:16	うーん。
0:58:19	なんて言うんですかね、タダノも副福浦断層の窓同列として評価してるってことなんです、ちょっとその辺の考え、
0:58:29	教えてください。
0:58:32	北陸電力キムラです。この積がダムの右岸につきましては、断層2条に分かれておりますけども、これどちらも福浦断層というふうに考えておりまして、大坪がダム付近のトレンチ等で確認した。
0:58:47	断層につきましても福浦断層というふうに考えております。これいずれが分岐でとか、いずれが主断層というのはちょっとこれだけ
0:59:00	もう情報ではわからないので、いずれも福浦断層というふうに評価をしております。以上です。
0:59:09	規制庁タニです。今後お考えをおかれますと、それって何かの資料でもわかるんですかね特に書いてないからこれを福浦断層なんだっていいんですか。
0:59:22	これが福浦断層だってなんか明示的に書いてたのことは今までなかったような気がするんですけど。
0:59:31	すみません。
0:59:33	70ページのところで、大坪がダム右岸周辺の調査結果をまとめておりますけども、

0:59:44	まず、
0:59:45	Cランクのリニアメント変動地形が緑色でありまして、その左側にDランクのリレー面談変動地形がありまして、今回Dランクのリニアメント変動地形を判読した位置において断層を
1:00:00	確認したと。
1:00:02	ということで、
1:00:03	この断層については、
1:00:07	福浦断層であると判断しまして、この断層の活動性を調査するために、トレン調査を実施した結果、福浦断層の活動の影響。
1:00:21	地層に福浦断層の活動の影響が否定できないことから福浦断層は後期本市でいくのかというのが否定できないというふうに評価したって書いてありますので、これも断層については福浦断層というふうに評価しております。
1:00:37	店
1:00:38	はい。
1:00:39	フュエル原です。今木村が言ったことでほとんどです。もう少し補足しますと、
1:00:45	これまで荷揚電動つけとしまして、
1:00:50	西側、緑のほうはCランクということで、明瞭に見えておりましたので、資料には明記はしておりませんでした、集中ということも特に資料化しておりませんでした、
1:01:06	オレンジで見つけたところが、副次的なものではないかというふうには考えておりました。ただこれまでも資料に明記しておりませんでしたし、今回改めて断層トレースしたということで、今回された集中の関係ではなくて、どちらも同列に扱っていきたくと。
1:01:21	そういったふうに評価をしております。以上です。
1:01:26	規制庁投入す。
1:01:27	もうあれですかねこれは見て福浦断層の断層位置ってということで書いてるからも両方手段だということなんですかね
1:01:39	はっきりと書かしてもらったほうがいいかなという気はするんですけども、前的にはこれが70ページだとか、今のこの図面で、これが福浦断層だというのが読めるってということで、そういう整理されてるってことですかね。
1:01:56	はい。補欠電力のノハラです。今おっしゃったようなふうになっておりますが、
1:02:02	表現の仕方につきまして少しこちらで検討させていただきたいと思います。以上です。
1:02:10	はい、お願いします。

1:02:12	あとですね。
1:02:15	すみません、順番にどんどん行きますけど、80 ページは、
1:02:19	今回のボーリング調査をやってこれが福浦断層が延びてんだとか言う考え、考えているもの福浦断層と判断したってということなんですけど。
1:02:31	確かにね、その走向傾斜の説明を調和的に層厚傾斜は調和的リニアメント変動地形に対応する位置であると。
1:02:43	ということなんですけど、そのまま何というんですかね、正常的な観点からは、
1:02:48	何か説明していないんです福浦断層ほかで確認している断層と性状も似ているのかどうなのか。
1:02:56	確認させてください。
1:03:02	北陸電力キムラです。
1:03:04	この絵と 80 ページのF1' 孔につきましては、
1:03:10	破碎部の性状を見ますと、熱さえっと、左下のほうにちょっと記載ありますけども、厚さ 0.7 から 1.9 の角礫状破碎部ということで、
1:03:25	ある程度圧差を持った未固結の破碎部ということを確認してます。
1:03:30	ということで、
1:03:33	それともう 1 個のボーリング地点 69 ページありますけども、
1:03:38	受けて北方周辺のボーリング調査、
1:03:42	ここも見ますと、
1:03:44	右下のほうに性状の記載がありますけども、厚さ 1.0cm の未固結な粘土という記載ありますけども、未固結の破碎部がある程度の厚さを持ってあると。
1:04:00	郵政上は
1:04:02	同じであるというふうに考えてます。ただ 80 ページのF1' 孔につきましては、周辺がちょっと悪い面が集中しておりまして、角礫状
1:04:14	ここはどうなっているという点がちょっと
1:04:18	受けてのほうのボーリングと異なりますが、
1:04:24	主せん断面といいますか、角礫状角礫状破碎部。
1:04:29	未固結の破碎部を伴っているという点において福浦断層、
1:04:36	に見られる性状、
1:04:38	大間も、
1:04:40	共通して見られる性状を持つてるというふうに判断しております。
1:04:45	以上です。
1:04:51	はい。とりあえずお考えを確認しました。
1:04:55	そうですね未固結のところがあるところですね。
1:05:00	あとはですね。

1:05:02	ちょっと順番にいくと。
1:05:04	続いて、それで 86 ページなんですけれども、
1:05:11	これらの前からそうなんですけど、
1:05:15	地球の支給を断面図を切って行って、今回ちょっと追加したっていう話もあったのかな。
1:05:23	これ逆向きの堤外は認められないってこうもはっきりこの上で書いてるんですけど、そのほかの例えば変形だとか、そういった説明もないです。例えば撓み状の地形は、その北側に行くところあるのかなのかとかというのが、
1:05:40	この断面図に書いてないからないっていう話なのかもしれないですけど、何でもこのえっとコメントで逆向きの低外だけの説明になってるのかなっていうのも含めて、変形もあるんですかどうなんですか。
1:05:54	いうのを確認させてください。
1:05:57	北陸電力キムラですが、
1:06:01	逆向きの低外っていうのが福浦断層に、一番特徴的な地形として、
1:06:09	北から南までずっと連続的に認められるということがあってありましたので、この逆向きになって害がワン'の断面までは認められるんですけど、その下のN1N1'、
1:06:25	以降以北には認められないと。
1:06:28	いうことで逆向きの低外に着目して記載をしたんですけども、その今おっしゃられた撓み状につきましても、
1:06:38	内ということを確認しております。
1:06:41	それにつきましても、
1:06:45	ちゃんとわかるように、次回、
1:06:47	記載したいと思います。以上です。
1:06:51	はい。 तरीですと考えがわかるようにしていただけたらと思います。
1:06:57	あとちょっとですね、私のずっと飛びまして、
1:07:01	海の話しますね。
1:07:05	海域の 211 ページ。
1:07:09	いいですか。
1:07:16	今回 55 番、5 番島沖断層、
1:07:21	の東側の
1:07:24	端部を見直しましたと、兜岩断層の南側の端部を見直しましたっていう資料になってるんですけども、
1:07:34	これってあれですかね
1:07:36	見直している。

1:07:39	店頭見直し例えば5万、5番島沖断層で言うと東側を見直しましたのですが、西側とかについては特に見直す必要がなかったってことでいいんですよね。
1:07:55	電力イシダです。おっしゃる通り、拒ん島沖の南西短兜岩の北端につきましては見直す必要がないと判断しまして、以前の資料のままとなっております。以上です。
1:08:07	はい。今後確認しました。それで、例えば211ページだったら、
1:08:15	模糊国庫205番島沖の東側の端部端点をこのスパーカーで決めてますよっていうことを書かれてるんですけど、これあの会合のときに、
1:08:28	例えば複数の評価で各自
1:08:33	複数の測線の評価で確実に
1:08:36	断層の変位変形がない範囲を示すことみたいなことを言ってるはずなんですけれども、
1:08:43	これ、今のこの資料見ると、何なんか端部はこれですよっていうことで1測線で説明されてるんですけど。
1:08:52	それはもっと複数を確認して評価されてるんですかその辺確認させてください。
1:09:01	北陸電力イシダです。おっしゃる通り、まず、もともとの考え方としましては、210ページに示しましたNo.7.75S7.75Uを1本目のため、鞍部として考えておりました、
1:09:16	2本目の端部として今の現在のためである211ページのNo.182s測線をまた部として考えております。
1:09:25	もともと7.7517.75U一報目として考えておりましたので、複数という形に現在になってないという状態ではあるんですけども、このNo.108-2S-さらに
1:09:40	東側の108.25測線というものもありまして、こちらでも拒ん上記断層
1:09:47	認められないということを確認しておりますので、現在兜岩沖の南端につきましても同様な状態になっておりますので、2測線で確実にないということ判断しているというような資料に、
1:10:01	修正させていただきたいなと思います。以上です。
1:10:05	規制庁投入す。確認はしてるんだけどその確認しているデータというのは今資料ないからそれは追加するっていう説明としました。はい、確認できました。
1:10:17	どう。
1:10:18	あとちょっと、
1:10:19	元んで。

1:10:20	272 ページで確認したくて、
1:10:26	ちょっと考えの確認なんですけど。
1:10:29	これちょっとすみません会合で性格の議事録を私確認してないんですけどこれ D II の上限を今回整理してますよね。
1:10:40	例えばD層の上限を整理するんだったら、D1 層だとかで考えると理事Dに合わせて考えると、何かいろんな考え方があったと思うんですけど、今このDBにしている。
1:10:57	D2 層の上限を整理されたっていうのは何か理由があるんですか。
1:11:05	北陸電力インダです。もともと会合でいただいたコメントを見ますと、音響基盤である、いつその構造を見たいというところが一つありましたので、dt II 層の等深線図を作成させていただきました。
1:11:20	もう一つ、D層まで地質穴水累層になりますけれども、D層の上限、
1:11:27	という考え方もございますが、実際測線、この辺りの側線を見ますと、リーマン層の分布というのはかなり限られてまして、実際聞いて輸送の等深線分布とほぼ同一になってきます。
1:11:44	ですので、今回につきましては、
1:11:47	コメントいただいたというものがありますので、Dという層が音響基盤の等深線図を
1:11:53	都市させていただいたという流れでございます。以上です。
1:11:57	北陸電力のヨシダです。ちょっと1点補足させてください。
1:12:01	287 ページ。
1:12:04	止めて欲しいんですけども、なぜ率にしたかといいますと、D II っていうのは、今我々を行った測温音波探査の音響基盤です。
1:12:14	音響基盤は何やといいますと一番下にありますように、陸域の我々ずっと議論してます、サイトの周辺にある穴水累層、
1:12:24	もう状面に対応します。そこは同じ要介護のもんですから、陸から海に沈み込んでいる状況がわかりますので、言ってみれば、通常面は陸域の穴水正面とでは入りますと少し碎石層、
1:12:39	行政代の若い人入りますので、ここ穴水累層を陸から連続する穴水累層が海になってるか、そういう観点と大手も含んでおります。以上です。
1:12:51	はい規制庁と2です。
1:12:53	Dtの考え方はわかりました。確かに介護で音響基盤という言葉が出てきていると思ってそれはそれが率なんだっていうことで、いつでも止められてるっていうことで考え起こりました。
1:13:06	あとはね、ここで 272 ページで、

1:13:11	青い測線の位置は、
1:13:15	嘘青い測線の位置ではないですね測線のうち、青い線が入っている区間ですか、そういう空間ではDⅡ層が確認されているってことなんですけど、この青い測線以外のところの等高線っていうのは、これは何に基づいて書かしているのか何か自動で
1:13:34	サポートとかで書かしてるってことなんですかね。
1:13:37	ちょっとその辺確認させてください。
1:13:40	陸電力のインダです。
1:13:42	こちらの保管期間につきましては、右の四角の2ポツ目に説明を書かせていただいたんですけども、
1:13:50	各
1:13:52	推進ですとか、映像水を合わせたっていうそうとしていますけれども、水層で言いますと、D層全層の境界震度データから各層の厚さ分布をまず出しまして、それを時MTのサービスコマンドで自動で計算して描いていると。
1:14:08	いう状況ですね。以上です。
1:14:12	規制庁タニですちゃんと書いてましたね。すいません。
1:14:16	ちゃんと読まずに質問してしまいました。
1:14:18	じゃああれですかね測線の青い線のところはもうこれはもう決まったところで、その他のところっていうのは、
1:14:28	時プログラミング上で、こういった
1:14:31	ほかの推進Q層ですか、こういったものを基づいてプログラミングで書かしているってことで理解しました。それでよろしいですね。
1:14:42	北陸電力社ですはいその通りです。
1:14:47	はい、確認できました。
1:15:00	規制、規制庁のカイダです。私の方からも何点か確認をさせてください。
1:15:06	ちょっとさっきのタニが確認したのと一部かぶるところもあるかなと思うんですが、
1:15:14	80ページのボーリングで新しく
1:15:18	断層見つけましたっていうところの資料が出てきてます。
1:15:24	確かにここに断層があったという説明だったんではあるんですけど。
1:15:31	先ほどタニも言ってたかなと思うんですけど。
1:15:35	私も見てもちょっとこれ、
1:15:39	利益がガラガラと個々バラバラになっているような隠れキーの状態。
1:15:45	はわかるんですけども、
1:15:47	端っこのほうだからって言うのかもしんないですけどさっきちょっと、

1:15:53	御紹介なったのを受けての
1:15:55	ところのボーリング。
1:15:57	69 ページですかね
1:16:00	ここみたいにガウジが失敗あるようなとも違うし、
1:16:05	多分トレンチで見たいやつみたいにはっきりとしてるわけでもないというか、
1:16:12	これちょっと写真が来る雨だではあるし、ちょっとちっちゃいのでわかりづらいと いうところもあるんですけど、もう少し何か性状がわかるような大きな無大きめ の所資料っていうか、
1:16:27	あと
1:16:31	そういったのがあったほうがわかりやすいかなと思います。
1:16:36	これ見た目格子しっかりしたせん断面みたいなものが、
1:16:40	見えないようなんですけど実際見るとちゃんと見えて、
1:16:45	そういうところが確認できるというものなんですかねちょっとこれじゃあちょっと わかりづらいので改めて確認させていただきたいんですけども、
1:16:58	はい、北陸電力キムラです。
1:17:02	資料のほう、ちょっと写真が小さいとか、まあそういう御指摘につきましては、 承知いたしました。で、次回、ちょっともう少し大きい。
1:17:14	資料つけるなりしてわかりやすくなるように、
1:17:19	修正したいと思います。
1:17:22	で、この破碎部につきましては、
1:17:26	実際コアを見た被災
1:17:32	ありますけども、
1:17:35	角礫状破碎部ということで
1:17:39	ちょっと破碎が集中した部分が見られると周りもうちょっと碎けておりますが、
1:17:49	これもまだ断層のちょっと影響も受けているのかと思いますけども、ちょっと
1:17:55	周りも、
1:17:59	だけでいるような状況を見られますんで。
1:18:02	終戦断面としたところは、走向傾斜も福浦断層等あっているということから、こ れ副断層と判断しておりますけども、
1:18:14	次回以降そういった評価した内容がわかるように丁寧に説明を記載したいと 思います。以上です。
1:18:24	はい。返しわかりましたじゃああのちょっとこう、
1:18:27	写真は大きめなのをつけていただいてその辺の説明も加えていただいたほう がわかりやすいので、よろしくお願いします。
1:18:38	引き続きと。

1:18:40	86 ページ、87 ページの北端の辺りの評価で追加された。
1:18:48	ところなんですけれども、まず 86 ページで、
1:18:53	さっきもちょっと話題になった今逆向きの低外が、
1:18:58	ありませんというような御説明でした。
1:19:02	ちょっとこれもちょっとつつうアップになってるからチェックBかなと思うんですけど。
1:19:09	NさんとN2 断面っていうのはこれ今の評価だと。
1:19:15	福浦断層の範囲に入ってるっていうところではあると思うんですけど。
1:19:21	一井さんって書いてるところは、
1:19:25	見ようによっては微妙に
1:19:28	一部、
1:19:29	海のほうが高目に
1:19:32	なってるような
1:19:34	にも見えなくもないして次の
1:19:38	ページの 87 ページの
1:19:45	等高線が少し見えて加算ではいるんですけど茶色いところも、
1:19:52	のほうが高いっていうよりは
1:19:56	瘤が二つみたいな感じになっているようにも見えたりするんですが、
1:20:02	ここは
1:20:03	どうなんですかね
1:20:05	逆向き低崖がないというような御説明で、
1:20:09	他方でオホーツク芳川ダムのところの
1:20:12	何ですか。
1:20:14	左岸ですか。
1:20:16	文化右岸の尾根の上では逆向き低崖があるっていうような
1:20:22	評価があって、
1:20:24	やっぱりその
1:20:26	ところとは大分違うというふうな
1:20:30	ことなんでしょうか。ちょっと今地図がちっちゃくて、なかなか読み取れないんですけど、
1:20:38	お願いします。
1:20:42	北陸電力キムラです。
1:20:44	87 ページの断層を確認したところの一つし、南側の段丘面のことをおっしゃられたのかと思いますけども、

1:20:58	こちらにつきましては、逆向きの低が岩間南からずっと連続する、して認められるような逆向きの低害はないというふうに評価しておりますが、辺変形変形といえますか。
1:21:13	変形もないというふうに評価しておりますが、一部半部というか少し
1:21:22	へこみというのが、
1:21:26	の断層の推定位置のところに
1:21:30	規模は小さいですけども認められます。
1:21:34	ただ
1:21:36	これを今まで
1:21:41	リニアメントというふうには呼んでおりませんでしたけども、逆向き予定外っていうのが認め、
1:21:47	られないので、
1:21:51	2面としておりませんでしたけども、今回断層AO見つけてまして、その南側にちょっとアンブレラのような地形もあるということから、断層が通っている可能性も否定できないのかなというふうに考えております。
1:22:08	ちょっと86ページの断面図のほうをちょっと小さくて申し訳ない。
1:22:13	ありませんでしたけども、次回大きい断面図をつけまして、
1:22:20	その辺り説明を記載したいと思います。
1:22:24	以上です。
1:22:26	はい、カイダですわかりましたじゃ。
1:22:29	そこをもう少し大きめにさせていただきたいなと思いますので、
1:22:34	86ページですとNさんもこれ見ようによっては、ちょっとこう、
1:22:41	平たんになった。
1:22:43	出るのか、それとも海側が
1:22:46	海洋に傾斜してるのか。
1:22:49	そこもよくわからない。
1:22:52	わかりづらいので、合わせてN2Nさんをお願いしたいなと思います。
1:22:59	このところについてはちょっと
1:23:04	審査会合のときは、
1:23:07	今のこのn
1:23:09	2に相当するようなところに、
1:23:11	こう変形と書かないというような御説明で、
1:23:15	それは割とここ大事な評価であるっていうのは議論もあって、あと、
1:23:22	bの方も、ここって

1:23:25	何か堆積物はあるのかっていうような質問があって、このあたり調査とか充実したものがあるんで、次回以降、
1:23:35	その辺のデータも示すっていうようなお話もあったと思うんですけども、
1:23:42	今回地形の
1:23:44	データはこうやって今あるんですけども。
1:23:48	堆積物がここにはあるかないかっていうのももしあるのであれば、情報があるのであれば、
1:23:54	なんかついてたほうが説得力あるような気がするんですけど。
1:24:00	これは今回ついてないのは、
1:24:04	調べたけど、この上のところまではなかったということなんでしょうか。そこを確認したいんですけども、
1:24:16	北陸電力キムラです。
1:24:19	福浦断層の北側の堆積物につきましては、
1:24:24	ちょっと補足資料の
1:24:27	方と見ていただきたいんですけど、どうも。
1:24:31	補足資料の
1:24:33	2.2-1-135 ページですね。
1:24:49	この丸の 26 番の高位段丘Ⅲ面の段丘面調査結果というもので
1:24:56	こちらの調査結果をつけておりますんで。
1:25:01	この調査位置なんですけども、こういう段丘Ⅲ面としており、おりますけども、
1:25:09	地形的にちょっとやせ尾根状を呈しているということもありまして、
1:25:15	市周りの
1:25:18	タニからの進捗等も影響も受けておりまして、なかなかあの堆積物っていうのが、
1:25:27	保存されておらずでして、ここで確認されたのは、この柱状図に記載されている。
1:25:35	王子
1:25:37	強度と崖錐堆積物というものになります。
1:25:42	で、この
1:25:45	を行った調査データにつきましては、
1:25:50	今回、
1:25:52	周りの段丘面も含めて福浦断層周辺の高位段丘Ⅱ面 3 名の調査データも今回つけておりますけども、
1:26:04	この 26 番の地点ではそういう典型的な土壌等は認められなかったんですけども、同じような高さ

1:26:13	にある図明の調査データを見ると、
1:26:17	土壌がしっかり保存されている面のデータがありますので、
1:26:23	この同じ高さにある面ということで、こういう段丘Ⅲ面であるというふうに評価しております。
1:26:31	以上です。
1:26:35	カイダです。状況をわかりました。
1:26:38	こういう状況であるからとりあえず懇取り扱う今回は地形的な話でご説明をされているという。
1:26:49	ことかなと思います。
1:26:52	状況はわかりました。
1:26:57	あと、もう少し 123 ページ。
1:27:01	なのですが、
1:27:07	これも多分新しくボーリングでT2 と 3。
1:27:15	掘ってみてこの枝野断層のところには、だの、
1:27:20	タニには断層なかったけど、あった部分についても、
1:27:25	方向が違うっていうのは説明。
1:27:27	ざっとだったと思います。
1:27:31	破碎部の層厚は
1:27:34	下に 124 ページですか。
1:27:38	ここに講習 27 とか 5970。
1:27:44	どうぞ。
1:27:45	という走向で、
1:27:48	125 ページでも 644eとか、
1:27:53	いうのがありますので、
1:27:56	223 ページで、
1:27:59	タニ地球と走向が異なるっていうような御説明なんですけど。
1:28:05	このタニの走向とかも
1:28:09	何て言いますか、ちょうどNE、SW方向。
1:28:15	こういうふうにも見えるんですけども、
1:28:18	ここで言うタニ地形は大体どのぐらいっていうことで、
1:28:24	イメージ、イメージというか、
1:28:26	これ 45 億ぐらいにも見えますけど、そうすると、
1:28:31	そんなにも大きく違わないようなやつもあるように見えたりしてタニの方向っていうのはこれ今どのぐらいを考えられているのか。
1:28:40	教えていただけないでしょうか。

1:28:47	はい、北陸電力キムラです。
1:28:49	ちょっと 120 ページにタニ地形さんの全体の
1:28:57	地形がわかる図をつけておりますので、こちらのほうで説明いたしますけども、
1:29:02	120 ページですね。
1:29:05	120 ページのこのタニ 1 計算ですけども。
1:29:10	もうこの
1:29:11	方向を見ると、概ね 20° から 30° N20° から 30° E、
1:29:19	の層厚ではないかというふうに考えてます。ちょっと
1:29:25	数字を記載しておりませんでしたので、
1:29:30	ちゃんと次回記載する対応するようにしたいと思いますけども、前N20 から 30° Eと考えますと、この破碎部②から④ですね、124 ページに総合傾斜書いてありますけども、
1:29:46	②から④)につきましては、少し層厚が、
1:29:53	30° とか以上ずれているというふうなことから、タニ地形の層厚かったら
1:30:02	2 ツ系の走向とは異なるというふうに考えております。
1:30:06	なので、このタニ地形を形成したような破碎部等ではないというふうに評価しております。
1:30:14	以上です。
1:30:17	カイダですわかりましたじゃちょっとその辺りもですねタニはここおおよそこういう向きなんだけどっていうのをに入れていただいてそれとの比較で、
1:30:29	こうこうこうだっていう話で
1:30:33	書いていただいてかないとちょっとこの図だけだとわかりづらいので、よろしくお願いします。
1:30:40	あともう少し。1 点だけのちょっと確認だけなんですけども。
1:30:46	一方の枝の延長の海岸の資料が、
1:30:51	116 とか、117 とか、あるあります。ありがとうございます、これ。
1:30:57	これちょっと確認というか事実確認だけなんですけれども、例えば 116 で、
1:31:04	海なんか設備ってというのが、こう書いてあるんですけども、
1:31:09	これでこう海岸部にある何か。
1:31:14	敷地の中近くの海岸部にある。
1:31:17	断層とかって言ってるのと違ってこれは別の設備に何なんですかね。そこだけなんで。
1:31:30	北陸電力キムラです。その設備と書いてあるものは、断層とかではなくて、節理というふうに評価しております。
1:31:45	はい、カイダです。

1:31:47	わかりましたので、こんな質問したのはこの 117 ページの写真とか見てこう
1:31:53	海の幸岩盤の上にPdとこう。
1:31:57	数字が入っているようなところも、
1:31:59	綺麗に見えていたりして、これは
1:32:03	海岸部にある。
1:32:05	ところの断層と言ってるのもう見た目ちょっと似てるようにも、
1:32:10	見えたので、確認させていただいて、
1:32:14	いました。
1:32:16	設備は節理と今別物だと評価しているっていう
1:32:21	これは確認しました。
1:32:26	北陸電力キムラです。
1:32:30	思う。
1:32:31	節理のところ直線上にちょっとへこんで見えるような構造なんですけども、これは節理沿いに浸食で削られてへこんだものというふうに解釈しております、
1:32:46	この節理のところを見ますと、破碎部などといった
1:32:52	断層の特徴。
1:32:55	断層で見られるようなものがないことから、これは節理というふうに評価しております。
1:33:01	以上です。
1:33:05	はい、わかりました。その破碎部がないっていうのは確認されて、
1:33:10	設備として軽経営何とかっていうのは違うというものだという
1:33:16	そうですね。一応この説明
1:33:19	確認しましたととりあえず私の方から以上です。
1:33:44	規制庁タニです。ちょっと細かい点をまだちょっと戻ったりするかもしれないですけどちょっと確認させてください。
1:33:55	ネット 60 ページに、
1:34:00	福浦断層の評価結果っていうことで書かれていて、
1:34:04	なんて支店視点を変えてまでね北端は福浦高等部地点だと。
1:34:13	南端は一美東部地点だということで書いてるんですけど、これって、
1:34:21	例えばそれを
1:34:24	見ていくと。
1:34:26	何ページだとか、
1:34:29	ちょっとね、

1:34:32	ちょっと詳細な絵があって、これって地点なんですかっていうところなんですけど。
1:34:38	86、87 と 87 に
1:34:45	福浦東部N兵庫表土はぎ調査、
1:34:50	改定訂、これが北端の地点なんだっていうことなんですけど、この地点っていうのは、んな何て言うんですかね、ルートマップとどういう対応なのか。
1:35:01	例えば、
1:35:03	その下に福浦高等部S兵庫とはぎ調査、これってどうどこの範囲のことを言っているのかっていうのを、この辺ですわちょっと資料上ははっきりして欲しくて、例えば南端も同じなんですわ南端も 99 ページを見ると、
1:35:21	さっき言いました一美東部
1:35:25	んで南端を決めてるんだっていうんだけれども、何かこれを見たらあか済み東部っていうのはどうどこのことは一美東部って言うてるのか、何かよくわかんなくて、具体的にちょっと多分ルートマップFをFで決めてるんだと。
1:35:41	だから、調査地点なのか測線なのか、何なのかっていうのですねちょっとわかるように記載してくださいというのが、ここ当面コメントの趣旨でそれがわからないとちょっと話がかみ合わなかったりすると思いますので、そこをはっきり書いてくださいと。
1:35:56	いうお願いをしておきます。
1:35:59	いいですかね。
1:36:01	北陸電力のノハラです。今ほどおっしゃいましたように資料の方修正したいと思います。以上です。
1:36:09	はい、お願いします。ちょっとあと確認で 93 ページに、
1:36:15	今回の仮称地表踏査っていうの載ってるんですけど、これ
1:36:23	新しい範囲がここですよっていうのはわかるんですけど、企業調査範囲っていうのが補足資料で 2.2-1 の両括弧 5 っていうのがあって、
1:36:32	これ細かく見てもらう必要なんないんですけど、何か露頭の形が、
1:36:39	全然違うように見えるんですよ。これっておんなじ調査データに基づいてるのか、或いはどっちがもとで、
1:36:49	どっちがもとでどっちを信じたらいいのか。
1:36:53	細かい露頭の形は本編のほうから細かく書いてあったりするので、
1:36:58	ちょっとその辺、或いは時期が違うのかとかですね。
1:37:02	を教えてもらっていいですか。
1:37:08	北陸電力キムラです。
1:37:10	93 ページの

1:37:14	青の破線で囲った企業調査範囲の
1:37:18	資料につきましては補足資料についている資料につきましては、これは過去の調査データでありまして、
1:37:32	93 ページについては、
1:37:35	今回このかつ過去のルートマップをもとに、今回もう 1 回地表踏査をやり直しまして、
1:37:46	露頭の位置を落としたものになっております。なので、ちょっと細かいところ一致しないところはあるんですけども、93 ページは、今回の調査データで補足資料のほうは過去負けへん建設時等に行った。
1:38:02	調査データになりますので、少し時間が空いていることもありまして、少し表現方法とか、
1:38:12	露頭の形が異なりますけれども、同じ地点で別の時期に行ったものということになります。
1:38:19	以上です。規制庁タニですが、
1:38:23	事実関係はわかりました。それがだからこれあれですか。今回調査ルートマップっていうことをここ、この 93 ページに書いているから、まあまあそういうことなんだっていうことなんだと思うんですけど、ちょっとですねそういうことはちょっとははっきりと書いてもらったほうがいいかなと思います。
1:38:39	確認したかったのはどっちが正しいんかいじゃないですけど、今回見直してもその地質の状況としては特に変わらない露頭の形を細かく書いてくれてるんだけれども、特に地質の内容としては変わるようなことはなかったってことですね、企業の調査の範囲については、
1:39:00	はい、北陸電力キムラです。
1:39:03	おっしゃる通りで、
1:39:06	きちっと露頭の調査結果につきまして、断層がないという結果は変わらないということになります。以上です。
1:39:15	規制庁トミスもうちょっと細かくこの地質の分布も変わらないかったんですか、地質の分布も、
1:39:21	確認できたよってことでいいですね。
1:39:24	すごい細かい話をしてるわけじゃないんですけど、特に地質の状況も一緒に、企業で調査したものを確認しにいったルートマップなんだってことでいいですか。
1:39:36	はい、北陸電力ノハラです。地質の分布の状況は変わりませんでその結果前回まで断層こちらでとめておりましたが、今回改めて踏査したけど、壁の 6 月があるという状況に変わりはございませんでしたので、断層縁を福浦断層も含めて評価を見直しております。以上です。

1:39:57	規制庁タニです確認できました。多分せっかくちゃんともう1回みてるっていうことがこれじゃ、どうなってるのかわからなくなってしまうので、その辺ちゃんと説明をお願いします。
1:40:10	ちょっと話変わるんですけど。
1:40:13	46 ページ。
1:40:17	46 ページに今泉ほかで右側ですね、46 ページの右側の図で、
1:40:26	時側難関断層が港北報告。
1:40:30	北東から南西側に伸びてるその右上にリニアメントとか、
1:40:37	書いてますよね。推定活断層で黒で。
1:40:40	わかりますかねほぼ南北方向の
1:40:44	この、このリニアメントって、
1:40:48	49 ページにある。
1:40:52	これ北陸電力で評価しているリニアメントなんですけど。
1:40:58	これはちょっと私は何て言うんですかね。
1:41:03	時側なんかの断層の北側への連続の観点で確認してるんですけど、これは今泉ほかでさっき言ったの南北方向の線っていうのは、49 ページでは、
1:41:16	どこになるのか、あるのかないのか確認させてください。
1:41:22	はい、北陸電力のノハラです。
1:41:25	今ほど耐専をされました。ええと文献断層につきましては 49 ページで言いますと、㊶三番。
1:41:34	沖縄断層としまして、当社としてもリニアメント変動地形判読しております。
1:41:42	規制庁タニです。わかりました 23 番が、今泉ほかの南北方向ちょっと舗装走向がちょっと違うけれども、同じかな、同じところを言っているってことですか。その評価として落ちの方向とか落ちの方向っていうのはそのけばの方向ですね。
1:42:02	その辺の評価も一致してるんですかそれとも今泉ほかはそこまで細かく書いてないんですか、確認させてください。
1:42:12	北陸電力の小林です。内で簿価は今お話ししております。断層のところは、推定活断層を示しております、という結果であったりとか、変位センスは示していないという状況になります。
1:42:30	以上です。
1:42:32	規制庁タニです。わかりました。今泉仲間御社としては今、他もちゃんと見ながらそのリニアメントとかっていうのをちゃんと見て、変動地形学的に置けばもつけ足して 22 番、22 日。
1:42:49	12 番っていうのを認定したということですね、確認できました。

1:42:56	23 年、23 番になりますしました 23 ですね。
1:43:00	はい、確認できました。
1:43:08	あとちょっと大分等飛んで、
1:43:10	296 ページ。
1:43:14	なんですけど。
1:43:16	これ前もなんかちらっと私確認したかもしれないんですけど。
1:43:21	これ段丘面を地区ごとにちょっと整理して前回のか、会合でのコメント回答ということになってるんですけど、これって一番左側、一番左側の区間。
1:43:39	言葉で言うとなんなんですか。滝滝町とかその辺のところの
1:43:47	段丘面、
1:43:53	段丘面高位段丘面っていうのは、ここ断高位段丘 I 面っていう評価なんていうんですかね。で、敷地周辺になるとMB面っていう
1:44:04	b面だとか、面とか分けているんですよ。この辺って、
1:44:12	おんなじ面を認定しているって考えていいのかその面の区分の関係っていうのを、
1:44:19	もう一度ちょっと確認させてください。
1:44:25	北陸電力の古賀吉井です。
1:44:28	ちょっと前の 295 ページのほうを見ていただきまして、真ん中のほうに、の担当の段丘面層序という表をつけておりまして、街近傍ですと継電器 1 名。
1:44:44	がありまして、できるだけ 1 名が非常にダントーでは明瞭ですので、そこが一つ、基準となり、なるんですが、近傍のほうですとその一つ目が 1 円。
1:44:57	で、さらにその一つが 1 便というふうにやっております。一方でその他地域ですと中位段丘 I 面の一つ上にあるのが、こういう段丘 I 面、
1:45:08	その上が 2 年なっております、敷地近傍のこういう段丘 I a面と、その他地域の 1 面、
1:45:17	がTHAIされる面であるというふうに考えております。
1:45:22	以上です。
1:45:27	規制庁タニです。
1:45:29	だからあれですかね、高位段丘 I 面と 1 円もおんなじっていう説明なんですけど、何でこれ名前が違うんでしたっけ、ちょっとその辺も含めて教えてもらっていいです。
1:45:43	はい。
1:45:47	はいグリーン電力のハマダです。
1:45:49	この辺につきましては各エリアごとに昔からですね、段丘面の区分を書いております、ちょっとヶ国の名前からちょっと引っ張られたまま、来ておりました。

1:46:04	今回敷地の種近傍を特に見直している関係で、I a面と、I b面に区分できることであと周辺との関係は少し離隔がありますので、そこら辺の連続性も今後しっかりもっかい見直した上で先ほど小林が
1:46:23	同様に1mと1名I b面と二名が対応しているということを確認してこのような形で説明しております。ちょっと昔からといいますか、エリアごとに入ってたらちょっと経緯を少し引っ張った形でまとめております。以上です。
1:46:41	規制庁投入す。
1:46:44	説明を終わります。実はさっき今回確認してって言いましたけど、今回この退避がそれとってことです。今回ってどういう意味です。今回で今回といいますの審査始まってからですのでそういう意味では、
1:47:00	つまり今回でなくてへの申請もの時からですいません。今回であります、わかりました建設時と
1:47:12	審査の
1:47:14	なしですね。
1:47:16	以上です。はい、わかりました。つまり高位段丘ももう我々はもうし、あれです。すいません、北陸電力としては新生児からこの対比で考えて、我々はこのI aってというのは高位段丘I面で、
1:47:30	高位段丘I b. の高位段丘II面だというふうに見ればいってことを説明されてるってことかと思いました。
1:47:37	あと、続いてなんですけど、296 ページで、
1:47:42	今回、
1:47:46	77を見なんていうんで、直径7観でしょうかね、ここの辺りの基盤がんの標高を入れていただいたところんな資料としてわかりやすくなったんですけど、これで
1:47:59	凡例を見ると、
1:48:01	基盤南條面標高の最大値を入れてますってということで災害弔慰れてるんですけど、この最大値を入れたってのは何、何かこう理由があったら教えてください。
1:48:14	。
1:48:15	北陸電力の小林です。こちら石積みと呼びますが、最大値を入れている考え方としましては、一つここで考えたかったのが、
1:48:30	仮にその子育て移行期扇状地の下の基盤のところと同時に会費の侵食面やったと仮定した場合にどうなのかということ考えたかということがありまして、段丘調査の際に、
1:48:47	旧汀線高度をとるような考え方で断面図をとりまして、その中の一番高いところってのをプロットしているということになります。

1:48:59	以上です。
1:49:04	はい。今後起こります。ちょっと何かその辺付けとしてもらえると、要するにあれですね。
1:49:11	作業するんじゃないかもしれないけども、ほかの
1:49:16	ほかの段丘面の標高っていうのが旧汀線で書いてるんですよね。なんかそんな感じで合わせたってことなんですかね。
1:49:26	北陸電力の小林です。すいません
1:49:30	インプット 96 ページで段丘面にプロットしているのは、
1:49:34	正確に改正遡上面の旧汀線ではなくって、段丘面内縁標高なんですけど、この地域ですとそんなに、実際のない標高と旧汀線と差がありませんので、内縁標高のほうランキングがプロットしていて、
1:49:52	同じような考え方でこれだけのほうはちょっと厚く正面に 50m ぐらいの蔦澤おって、かなりかさ増しされているという部分がありますので、そういった所除いて、基盤が上限でプロットしているということになります。
1:50:08	はい、そうでは次回次回そのへんをちょっと詳しく記載させていただくそうですね、せっかく 295 ページで内縁標高って書いてあるんだからここも約 96 もちゃんと内縁補機方向なんだよっていうのは、それも含めて、もうちょっと説明をしていただけたらと。
1:50:25	思います。
1:50:27	ちょっとまた話変えて確認させて欲しいこととして、
1:50:31	えっとですね。
1:50:34	190
1:50:37	199 ページなんですけどこれ前回の
1:50:42	会合のコメントに回答するような形で、かつぼり
1:50:47	3 東方リニアメントのところで、
1:50:52	反射法との対比っていうのかどうなのかっていうことを
1:50:56	書いてくれたんですけど。
1:51:00	これは、
1:51:03	結構、
1:51:06	断層不連続面、
1:51:08	反射面のずれが不連続が認められる断層は確認できないということで書いてあるんですけど。
1:51:15	これちょっと具体的にはどの辺の深度のことをで評価してるのかとか、もうちょっと詳しく教えてもらっていいですか。
1:51:24	199 ページで説明してもらったら、

1:51:28	北陸電力の小林です。
1:51:31	これ福浦断層を
1:51:35	対比するような形になっておりましてはちょっと実は作らんさんの方もそんなに明瞭に出ていないのでちょっと難しい部分があるんですが、今考えておりますのは福浦断層の方見ていただきますと、
1:51:50	深度で言いますと、大体 600 から 1000 ぐらいの 1000m ぐらいのところですね、この辺りで少し社長の大きな反射面があるところが今黒点線で聞いているところで、ちょっと
1:52:06	また途切れているような状況が認められるめられます。
1:52:10	一方で、同じような進路で今の高津森山東方リニアメントのほうを見ていきますと、そういった状況があったと認められないということで、ここでちょっと違いがあるというふうに今解釈しているということになります。
1:52:28	以上です。
1:52:31	規制庁タニです。
1:52:35	ちょっと思ってた違ったんですけどその福浦断層って、あくまであれですか、その今の炉
1:52:42	浅いほうのからこうこうなんていうんですかね、ここの反射面の
1:52:48	広く見てたわけではなくて深いほうから追いかけていってこんな形になるけれども、先ほどのリニアメントについては、そんな状況がないってことで、そういう説明ですか。深いほうの
1:53:04	福浦断層ではっきりしてるのは 600 から 1000 何だっという説明でいいですか。
1:53:12	はい、北陸電力の小林です。比較的わかりやすいなその深部のほうになるかなと思っております。あとはフランスについては、浅部のほうで、やはり規制庁さんのほうで断層が見られておりまして、
1:53:27	その近くの測線でしたので、そういった情報も加味してちょっと浅めのところですね、浅いところで、
1:53:37	いきそうなところを引いているというようなことになります。以上です。
1:53:44	規制庁投入す。
1:53:47	はい、状況は起こりました。
1:53:50	ちなみに 200 ページ、次のページの 200 ページの
1:53:54	速度分布、
1:53:58	なんですけれども、これも速度部分とも文献に図示された位置を挟んで速度構造が変化する状況認められないということなんですけど、これは福浦断層

	についても認められないんですかこれ、これはちょっとその辺、書いてないんで確認させてください。
1:54:20	売り電力の小林です。ちょうど 182 ページのほう、すいません見ていただきまして、
1:54:31	結論としましては、福浦断層についても速度構造が変化する状況は認められないと考えておりまして、
1:54:37	82 ページのほうに
1:54:41	上の文章のなお以下のところでちょっと記載しているという状況になります。
1:54:47	以上です。
1:54:51	規制庁投入するこっちに書いてあるんですね、邪魔両方トモグラフィー速度分布っていうのは、
1:54:57	両方
1:54:59	そこでギャップは認められない療法っていうのは福浦断層も、
1:55:03	このリニアメントも認められないということで、はい、説明を
1:55:08	確認しました。
1:55:13	すみません、どんどんどんどん確認しますね。
1:55:18	続けて、
1:55:20	176 ページのこの表とか坪離散北西方にリニアメント、
1:55:29	これで今回はざっとしましたよっていうところが少なそうっていう説明なんですけど。
1:55:40	この砂層は何なんですっけ段丘面を構想する構成するそんな層っていうのは、
1:55:48	何段丘で
1:55:52	何でそのだ何とか段丘なっ当たるのかっていうのをちょっと説明してもらっていいですか。
1:56:00	はい、北陸電力スモリです。地形断面を載せたものは 171 ページをお願いします。
1:56:11	171 ページの真ん中に段丘面分布図を載せておりまして、ここで言いますD' 測線、ここがちょうど表 8 の場所に当たります。
1:56:20	こちら見ますと、6162 と黄色丸でございますけども、こちらが
1:56:27	177 ページで言います。61 と 62 に対応しておりまして、この辺りでちょうど表だけしておりますので、こういう第 94 面上で強度比を行ったという、こういう位置関係になってございます。
1:56:42	以上です。

1:56:47	規制庁あそこ高位段丘 4 面上で、はぎとりをやったんだと、これはだから行為 4 段丘堆積物なんだってことでいいですか。
1:57:01	北陸電カスモリです。
1:57:05	4 面を構成する、いわゆるその改正そうかどうかというところにつきましては少しちょっとわからない部分あるんですけども、段丘面を構成する綱そうでして、その上位に
1:57:16	177 ページのすぐ横で行ったピット調査等でその上位にトランを伴う赤色土壌ですとか、さらにそれよりも赤褐色土壌というところが見えておりまして、こういうことが考えましても、
1:57:30	12 から 13 万年前よりは十分古い時代にそこにたまった構成層であるというふうに考えてございます。以上です。
1:58:01	はい。事実確認をできました。
1:58:10	あとですね、ちょっと続いてなんですけど、これを何でっていう曲
1:58:24	規制庁投入ですけど、それで、
1:58:26	なんで、鈴木なんですけど、何でこの砂層
1:58:33	見ているのか。
1:58:35	ていうのをちょっと確認させてください。要するにこう基盤がんで断層がないとかいって、こう見る方法もあると思うんですけども、
1:58:45	何でこう時代がわからない。はっきりわからない時代がはっきりわからないその層を
1:58:52	見ているっていうその考えをちょっと確認させてもらっていいですか。
1:59:01	はい、北陸電カスモリです。
1:59:04	まず 177 ページにすぐ横で行ったピット調査を示しておりますけども、今ここでいうところの一番中流酸ここが今ほどの表だけの砂層に当たるんですけども。
1:59:17	ここ
1:59:19	このスタッフが
1:59:22	比較的厚くたまっているという。
1:59:27	あとございまして、
1:59:29	岩盤を出す。
1:59:32	今もかなり深くまで掘り下げなきゃいけないという
1:59:35	ところもありまして、インダ層でもその上位にセットはまともな赤色土壌ですとか、年代を十分に
1:59:44	考えることができるというふうに考えてこのスタッフを
1:59:47	連続的に出して評価していると、そういう形になってございます。以上です。
1:59:53	北陸電力のノハラです。少し補足させていただきます。

1:59:58	あとは、そもそもこのたかずばり山北西部のほうに議案といいますのは、最新の文献でも書かれておりませんですし、活断層研究会でも確実度Ⅲとして描かれている非常に短いリニアメントになっております。
2:00:14	でまああの空中写真判読しましてもリニアメント変動地形は判読されませんし、
2:00:19	あと、
2:00:21	我々の地質調査としまして、今のその表題だけではありませんで、175 ページに示しますように、地表踏査、
2:00:28	もうこって行っておりますとこういった露頭の部分からも、断層は認められないというような評価をしております。
2:00:36	今出ました文献調査ですが、地形地質合わせて総合的に判断しまして、段差は認められないという評価をしております。
2:00:47	以上です。
2:00:50	規制庁タニです。
2:00:52	今の説明っていうのがどの辺りを
2:00:56	読めば、
2:00:58	そこ、そういったことが書いてますその保管考え方っていうようなところですかね。
2:01:04	北陸電力のノハラです。169 ページにたかつもりも規制法にリニアメントの評価結果ということで、文献調査から活動性評価、そして結論まで一連で示した資料になっております。
2:01:19	ここに書いてあることにつきましては私先ほど説明させていただいた内容を進めていきたいされております。
2:01:25	以上です。
2:01:28	はい。事実関係確認できました。ちょっとちなみに 1 点だけ、ちょっと細かいことを確認しますが、これ結局このスタンスを見ました用途で断層が認められないっていうことを書いてるんですけど、いえるところは、断層認められないんですか
2:01:44	変形とかそういったのは、評価はできないっていうことなのか、断層が認められないっていう効果会計改定ルール変位変形が認められないじゃないかって断層認められないと書いてるんですけど。
2:02:00	その辺ちょっとどこまでのことが言えそうなのかっていうのをちょっと教えてください。
2:02:07	はい、北陸電力ノハラです。
2:02:10	それと、

2:02:11	この操作に関しましては変形も含めまして当せん断構造ですとかそういったような断層はそうしたようなものは認められないと。
2:02:21	そういったような評価をしております。
2:02:24	以上です。
2:02:25	。
2:02:31	規制庁ナイトウですけども、今のね、確認を見てるとね。いや、だから、結局、
2:02:40	皆さんの資料上に皆さんのお考えがちゃんと書けてないんですよ。
2:02:44	それから 176 ページの砂相当 177 ページの砂層は同じ数がそうであるっていうの何をもって根拠にしているのかってのもようわからない、書いてないし、
2:02:57	この砂層の該当部分を見たときに、砂層に断層は認められないと書いてんだけど、今の説明だと変位変形も含めて認められないとしてですよ。
2:03:08	だから本来ここの断層があるなしの話については基盤がん等の境界を見た上で基盤が丹生断層が認められないんだつたらまずそれで終わりだけど断層があったとしても、高位段丘面を構成する砂送付類似の砂層に変位変形を及ぼしてないからこれは活動性がないっていうのが普通のやり方なんだけど。
2:03:28	どうも聞くと、そこまでは確認できていなくて、他との合わせ技で総合的に判断をしましたということみたいなんだけど、だからその総合的にどう判断したのかってことをどのレベルでどのようにするとのエビデンスを使ってどういう考え方で総合的にどう判断したのかって書いてないっすよね。
2:03:45	どっかに書いてありますか。
2:03:55	北陸電力フジタです。
2:03:57	少し我々の評価した部分については少し表現しっかりかけてませんので、どのデータに基づいてどういう評価をした上でこういう最終的な断層が認められないというふうに繋がったっていうところをしっかりと記載したいと思いますので、よろしくをお願いします。
2:04:17	規制庁投入すはいよろしくをお願いします。
2:04:20	あとちょっと私ももう 1 点細かい話をさせてもらおうと。
2:04:25	ちょっと、例えばですけど 165 ページね。
2:04:29	ルートマップ
2:04:31	があります。
2:04:33	これ地質は穴水累層の安山岩と安山岩質火砕岩っていうことで凡例を書いていて、
2:04:42	その 1 ページ前、164 ページ。
2:04:48	で、地質の区分っていうところですね、これ。

2:04:58	穴水累層IAEAとIFっていうふうに分けているわけなんですけど、これで 165 ページと 164 ページの地層の対比で
2:05:10	どういう対比にんなるんでしょうかというのが 164 ページのこの地質図地質書 かれた地質図等、
2:05:19	165 ページの地質のルートマップっていうのは合ってるんですかっていうのを ちよっと知りたくって確認してるんですけど。
2:05:30	地層の地層まずななんでこう地層の記載が違ってくるってこれ、多分ほかの他 のルートマップも全部
2:05:38	地質図等を地表の踏査結果っていうのがちよっと何か違って対応がよくわから ないんですけど確認させてください。
2:05:50	北陸電カスモリです。165 ページのルートマップ、こちらの高津堀 1 億製法 1 リニアメントをその周辺のり雨ルートマップということで、この範囲を示しており ますけども、これ 164 ページで言いますと、
2:06:07	この肌色のようなところ。
2:06:09	と穴水累層の凝灰岩の部分のちよっと
2:06:15	特にネットJTに入っているような形を示してるとこになっております。この 165 ページルートマップの南西側、こちらのところに、164 のルートマップですと、広 い範囲凝灰岩がAと書いてありますが、こちらのほうで
2:06:31	広い範囲で了解が見つかっておりまして、ここから地形的地質的な繋がりをず っと見ていきまして、ここにも露頭では出ていないですけども、分布していると。
2:06:42	いうふうに解釈して地質図を書いております。
2:06:46	以上です。
2:06:53	規制庁たんです。
2:06:55	これはあれですか。すいませんと、じゃあ 165 ページのこの地質書いてる何で も明るい紫と青紫っていうのは、これは一緒なんですか 164 ページの安山岩 って書いてある凝灰角礫岩っていう
2:07:13	違うのは、広域で書いている時は凝灰岩というのが出てただけど、実際行って みると凝灰岩はなかったってことなんです。詳しく見るとその辺の違いがわか ってきたってことなんですか。
2:07:35	北陸電カスモリでございます。その露頭として今 165 ページの下の細かい実 際には賀祥等に出てる露頭としては凝灰岩確認できておりませんが、おそらく 164 ページのこの広い地質図というところで描いたときには、その凝灰岩が
2:07:51	露頭として見えないんですが分布していると。
2:07:55	いうふうに考えて書いております。
2:07:58	堺は出てくると思うんですけども。はい。以上です。

2:08:01	はい。期生規制庁タニです。私ちょっと勘違いしてて、ルートマップでちょっと同じような地層をちょっと違う。
2:08:10	いろいろ表しているのかなっていうか勝手にちょっと勘違いしてたところもあるのであれですねじゃもう地質図とえとルートもとおんなじ地質の凡例でおんなじ色合いを使ってるっていうことで、
2:08:23	ずっと資料上そうなるってことで、
2:08:26	いいです。私そこまで細かくしてないんですけど、確認してないんですけど。
2:08:32	北陸電カスモリです。今回そうですねつけさせていたでいるルートマップについては、基本的には色を合わせるような形で書かせていたでいます。以上です。規制庁タニですはいわかりましたのよく確認しておきます。ありがとうございました。
2:09:22	規制庁ナイトウですけれども、えっとね、取ったつもり3 東方リニアメントでここに年始の断面見ても、構造見受けられません和不連続はさみノズル不連続か認められないとして、だけど、
2:09:40	起こさりニアメントのところから、
2:09:43	西傾斜でね。
2:09:46	明らかに。
2:09:48	反射断面とわかったほうが、
2:09:52	ずれてる。
2:09:53	ように、
2:09:55	なってますよね、これは反射断面としてずれがないっていうのは、
2:10:02	何をもって不連続面が認められないとしてですか。
2:10:08	北陸電力の小林です。浅部のほうの浅いところですね、反射面、区切るというのが、ここだけじゃなくてはいと普遍的にこのあたりありまして、
2:10:24	それが直接断層特徴づけるようなものとして見えないんじゃないかなというふうな解釈してありまして、先ほど申しました少し深部のほうのはっきりしているところで見て福浦の方は
2:10:41	1000mのところ途切れるところがある一方で、デブリのほうはないというような差別化をして今見えないというふうに書いてあります。以上です。
2:10:59	規制庁のですけれども、ごめんなさい、今の説明基準をどう差別化してるのかっていうのがよく理解できなかつたんだけど。
2:11:08	袋とどう差別化をして、
2:11:11	こっち、高津ぶり東方3 東方リニアメント、
2:11:17	については、
2:11:19	反射面の乱れがないとしてあります。

2:11:24	北陸電力の小林です。
2:11:27	一番
2:11:29	続けられるのが、
2:11:31	震度で言うと700から1000ぐらいのところに少し波長の大きな反射面があって、そこが今福浦の交点線を引いているところだとそれが%途切れるような状況が認められると。一方で、同じような振動を
2:11:48	坪井の方に見ていただくときに、そういったものがないというところが一番大きな差別化になっているというふうに考えております。以上です。
2:12:24	規制庁ナイトウですけれども、今の説明で有効だけど1000mより以深渡島赤尾が明らかにずれてるよね。
2:12:45	すみません、取り組んでいること、コバヤシですけど、ちょっと今、画面を移しまして説明させていただきます。
2:13:23	すみません北陸銀行の小林です。お待たせいたしました。一方ですね
2:13:29	うん。
2:13:30	マウスのかすら見えておりますでしょうか。
2:13:38	えっとねゆっくり動かしてくれたら見えます。
2:13:43	うちの
2:13:47	すみません私見てたのうちのもうすでに
2:13:50	見えますよりも、
2:13:54	はい。こちらの
2:13:57	村断層のほうですね。
2:13:59	一番特徴的なのが700から1000ぐらいのこのところですね。
2:14:07	ここにこういった発表の比較的大きな反射面というものがありまして、それがここでちゃんと入れるような条件を認めるとする洗浄タニ進むすみませんこのってというのがよくわからない。いいですねやっぱり
2:14:22	ゆっくり動かしていただくか何かWebEx-図示する機能を使うか。
2:14:29	模範の口頭で説明していただくかで、
2:14:33	いいです。
2:14:38	規制庁たりですね。うんWebEx-なんか機能とかをもし、もし使えるんだったらそっちで何か示したほうがいいけど、使ったことなかったら別にここ口頭で大丈夫です。
2:14:54	はい。今ちょっと説明させていただきます。
2:14:59	このところですね今すみません緑で囲いました。700700mCDPでいうと、400
2:15:09	380ぐらいのところですかね、ここに
2:15:13	反射面ありまして、

2:15:16	これがこのプロ点線、
2:15:19	引いてあります。ここで途切れてみ右側にいかないと同じように、少しもう少し深いところで、この辺りにもありまして、
2:15:31	ここには逆に左にいかないというような状況が認められます。
2:15:38	一方で、高津森のほうですと、そういった同じように
2:15:44	社長の大きな反射面がこの辺りにあるんですけど。
2:15:50	井浦と同じように、パーセント遂げて反対側で出なくなるという状況がなくて、両側に
2:16:01	反射面がついているということが認められるということが一番特徴的に差別化される場所というふうに考えております。
2:16:12	以上です。
2:16:50	規制庁タニです。ですねここをちょっと議論するようなところであの場じゃないんですもないんですもうこの話はですね、どう、どういうふうに評価福浦断層では認定したけどこっち側。
2:17:07	人認定するようなものがないって考えているってことなんですけど、その辺のもうちょっと詳細なお考えを資料上もわかるようにしてもらって、
2:17:17	で、
2:17:18	いいですかまずは考えがですね、確認させてください。
2:17:23	いいですか。
2:17:26	はい北陸電力ヨシダです。
2:17:29	今ほどの説明、わかりましたですね少し深いところの話コバヤシしました。今回はですね、この福浦断層は 25mの樹脂端で 12.5 の
2:17:44	きちんとその細かい
2:17:47	運送しましたので、なぜ細かいかといいますとやっぱり浅いところのデータをですねしっかり取りたいと思う人がありますのでこの辺はもともと堆積岩じゃありませんので、反射法にはなかなか適していませんけれども、やはり穴水累層中の構造もやっぱり
2:18:03	見える場合もありますので、そういう意味で今の浅いところの話しませんでしたけれども、浅いところに書いた福浦断層の点線にもものと高津森の
2:18:14	その浅いところトモグラフィもありますので、その辺はしっかり説明を加えたいと思います以上です。
2:18:21	はい、規制庁とニースまずお考えを書きいただけたらと思いますよろしくお願ひします。あと一つ気になったんですけど、この 199 ページで福浦断層で右下に落ちる傾斜の地表付近ですね。
2:18:37	福浦断層と矢印した、もう 1 本書いてあるじゃないですか。

2:18:41	これは7と評価しているのかっていうのと、あとこれは反射法だけで評価しているってことなん何かここに引く理由っていうのほかにもあったんですかっていうのをちょっと確認させてください。
2:19:06	はいヨシダです。
2:19:07	この性もですね意味がございます。もしバックスラスト的な形にも見えますんで。
2:19:15	共同の400数字で210からですね、410から右下に散る線なんですけど、ここはですねやはり細かくこの過失破線をとると、少し右下に垂れ下がる感じでAsano不連続が見えます。
2:19:32	このくさび状になったところですね、少し反射面が乱れてますでここはこの反射面だけでこの線を想定したんですけれども、
2:19:42	じゃあ地形はどうなってるんだというふうな形でこのリニアメントを書いた。
2:19:48	図を見ますと、
2:19:50	ちょっと変形らしき線を矢印を書いております中のページが、
2:20:02	184ページご覧いただきまして、我々福浦断層の地形判読した場合ですね直線的な堤外先ほどありましたけれどもがKのほかにはですね、上盤側の地形面のたわみてるもんでございます。
2:20:17	ここで小さいんですが、福浦断層の文書をオレンジの線の左側に矢印暖気弁がそうした割り込んでると。
2:20:27	というのがその反射測線の言動の上側の
2:20:31	と下側にあります大体こういった形に範囲にも少し今の先ほどの反射法の点線が
2:20:40	やってくるのかなと。
2:20:41	細かな変形ではわかりませんが、そういった解釈もできます。
2:20:46	以上です。
2:20:48	廃棄規制庁タニですけど、せつかくですね、ちゃんと想像いろいろこう地形の要素だところも、
2:20:55	考えて、さっきのように説明されてもう少しこれも、反射法も細かく見られてここに線が来るんだって言う説明されてるんで、せつかくそういったことを評価されてるんだったらその辺もうちょっと細かくですね、か。
2:21:12	考えをわかるようにしていただけたらと思います。さっきの、さっきの絵の願いしますっていうのとあわせて、この辺の評価の
2:21:21	お考えもちゃんと書いてくださいというところです。
2:21:27	はい、了解いたしました。
2:21:44	規制庁サグチです。すいませんちょっと。

2:21:47	私、聞き逃したかもしれないんで教えていただきたいんですけど。
2:21:51	116 ページ等、
2:21:53	117 ページの
2:21:56	ルートマップの過失ありなしなんですけど。
2:22:00	これって写真で同じです。それとも違いますっていうのとあと 118、これも、
2:22:08	116 の課拡大。
2:22:12	ていいんですかね。
2:22:14	まずちょっと 166 とごめんなさい、116 と 117 がおんなじ写真かどうかっていうのだけちょっと教えてください。
2:22:27	北陸電力のメモリです。
2:22:29	こちらにですけども、同じ位置ではあるんですが、それと一応操作性時期は少し異なっております、
2:22:36	写真としては少し違うものになってございます。またですね 118 ページの拡大写真ですけども、こちら 217 ページにつけております写真よりも非常に高分解能のちょっと撮影した写真を
2:22:53	わかりやすいようにつけておりますので、厳密には違う写真にはなっておりますが、高分解能よりわかりやすい写真をおつけしていると、そういうものが 118 ページの写真になってございます。以上です。
2:23:06	サグチですすいませんもう 1 回
2:23:09	116 と 117 は 1 月なんだけどちょっと 1 は一緒ですけど。
2:23:16	撮影した期間が違うっていうことなんですけど、この比 118 と。
2:23:21	116 っていう関係は全く関係ない、単に
2:23:31	高分解能でとられたものを
2:23:33	Kているだけであって、
2:23:36	116 の高高分解能を版ではなくてまたこれ別のもので、
2:23:43	場所だけは合ってるんだけどってそういうだから結局 116517 も 118 も撮影時期とかそういうものは全く違うってそういうことですか。
2:23:58	9 電力のメモリです。おっしゃる通りでして、一応同じですが、それぞれの写真は、
2:24:04	違う手法でまわし違う時期等で達成したものになってございます。以上です。
2:24:12	はい、あのサグチイソダの事実関係だけは確認できました。ありがとうございます。
2:24:41	規制庁タニですけど。
2:24:44	ちょっと時間も大分過ぎてしまってます、
2:24:49	今日のヒアリングはこれぐらいにしたいと思って、最後にですね

2:24:56	いろいろとちょっと説明を加えたりとかそういう作業していただくような話になったと思うんですけども、それは時間的にはどれぐらい
2:25:08	かかりそうですか。
2:25:17	北陸電力のフジタですけれども、
2:25:20	資料の修正等につきましては、
2:25:24	しっかり対応させてもらって 8 月 23 ぐらいに資料届けするようなイメージ。
2:25:29	どうでしょうか。
2:25:33	遅いようでしたらもう少し多い規制庁タニですけど、特に確認したいだけで特に早い遅いとか言うつもりはないんで、大体それぐらいで気持ちの機器準備して準備というか、
2:25:48	心構えをしておきます。
2:25:51	はい。
2:25:52	お願いします。
2:25:54	はい。
2:25:56	それでは、
2:25:58	ヒアリングは終わりたいと思いますが終わっても大丈夫ですか。
2:26:05	北陸電力フジタですこちらの方から資料についての説明は、
2:26:09	以上でございます。
2:26:13	はい、規制庁タニです。それでは本日のヒアリングを終わります。どうもお疲れ様でした。